

教育研究の評価に関する検証アンケートの結果

- ① 中期目標の達成状況評価に関するアンケート結果(大学等) . . . P 1～P 14
90法人中 90法人回収(回収率100%)
- ② 現況分析(教育)に関するアンケート結果(大学等) . . . P 15～P 22
801学部・研究科等中 777学部・研究科回収(回収率 97.0%)
- ③ 現況分析(研究)に関するアンケート結果(大学等) . . . P 23～P 32
614学部・研究科等中 591学部・研究科回収(回収率 96.3%)
- ④ 中期目標の達成状況評価に関するアンケート結果(評価者) . . . P 33～P 44
177人中 119人回収(回収率 67.2%)
- ⑤ 現況分析(教育)に関するアンケート結果(評価者) . . . P 45～P 52
260人中 151人回収(回収率 58.1%)
- ⑥ 現況分析(研究)に関するアンケート結果(評価者) . . . P 53～P 62
260人中 151人回収(回収率 58.1%)
- ⑦ 研究業績判定に関するアンケート結果(評価者) . . . P 63～P 65
343人中 251人回収(回収率 73.2%)

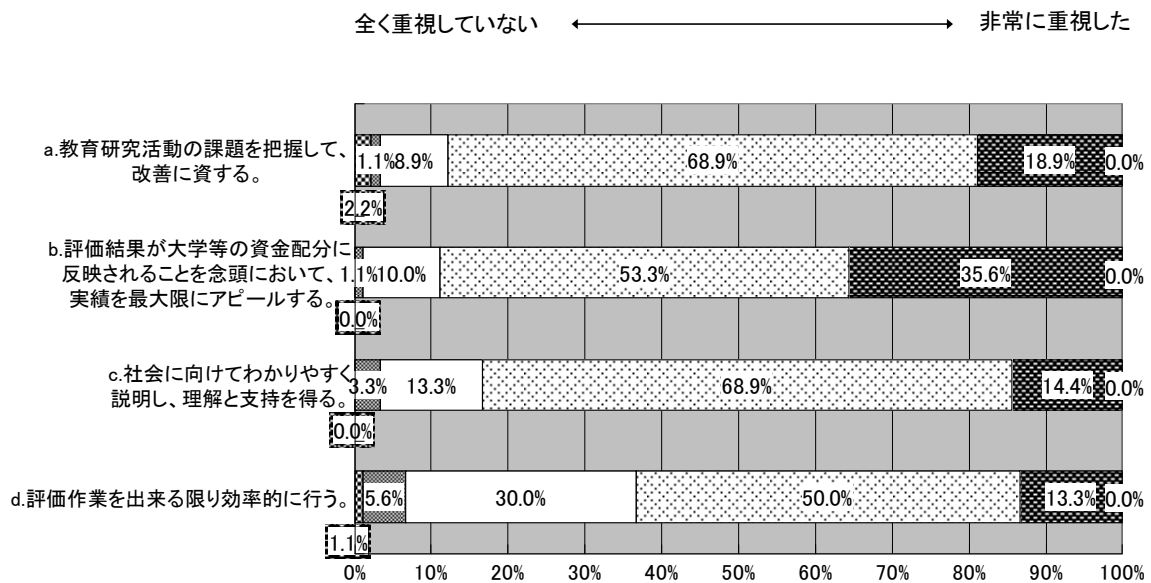
「国立大学法人及び大学共同利用機関法人における教育研究の状況についての評価」

教育研究の「中期目標の達成状況評価」に関する検証アンケート

I 貴大学等における「達成状況報告書」の作成作業について

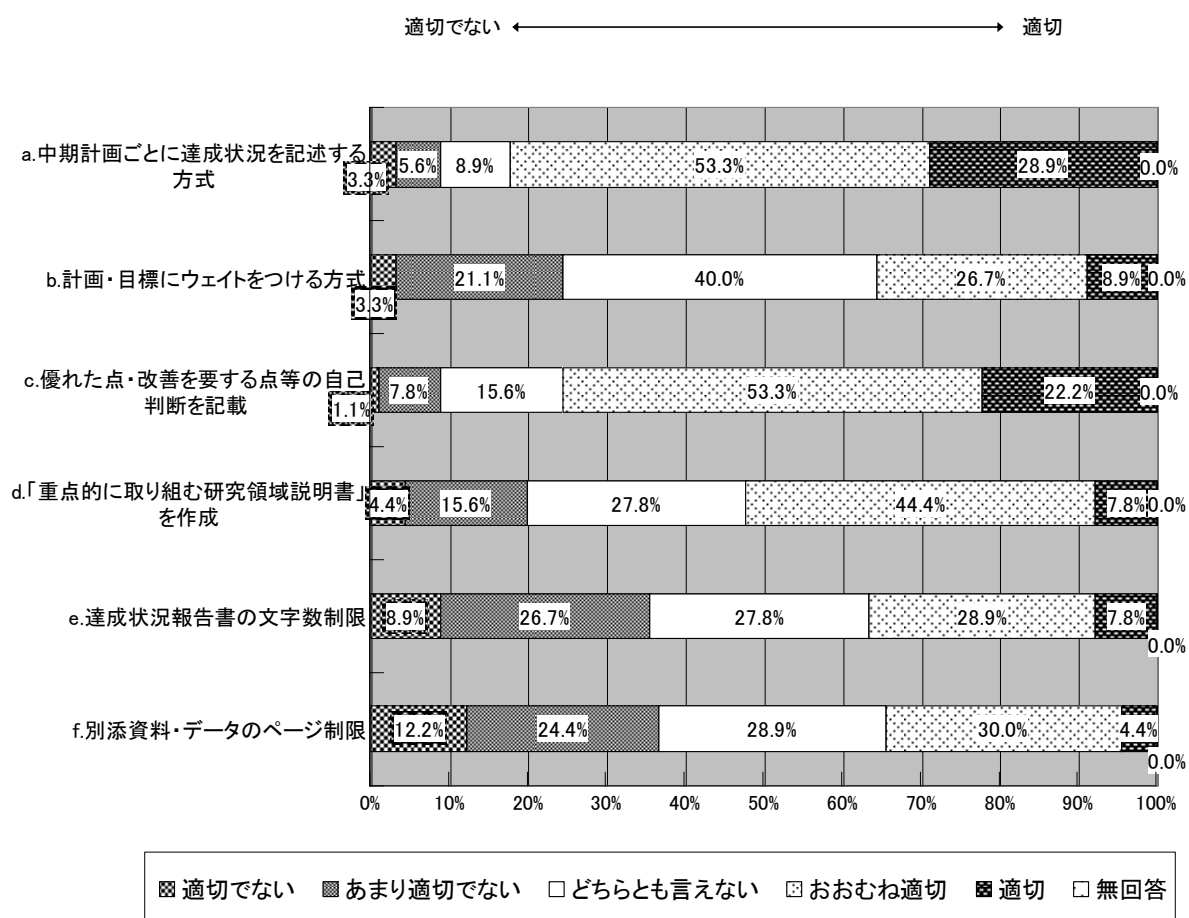
問1 今回の達成状況報告書の作成について

(1-1) 今回の教育研究の「達成状況報告書」の作成過程において、貴大学等では以下の点をどの程度重視して作業をされましたか。

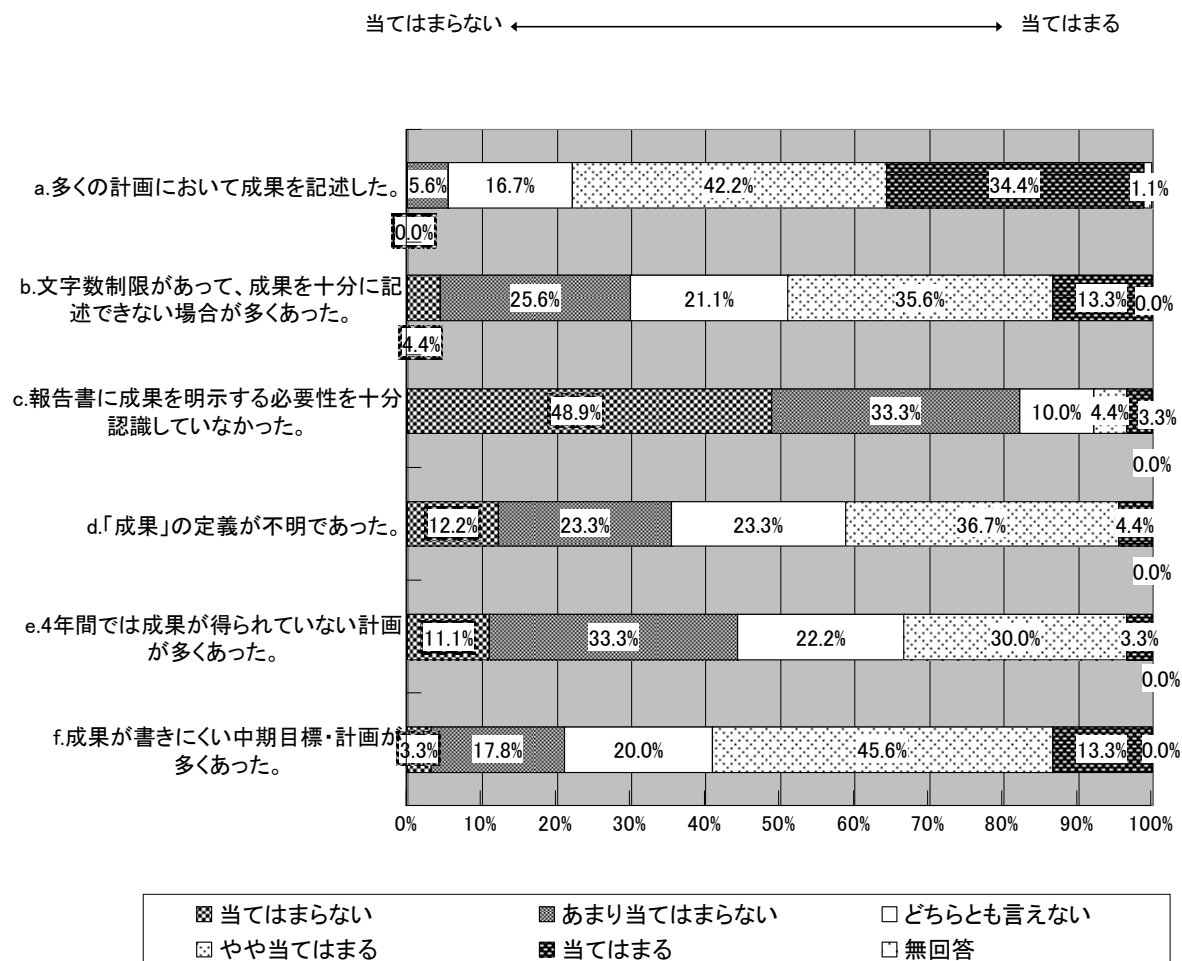


☒ 全く重視していない
 ☒ 重視していない
 ☐ どちらとも言えない
 ☒ 重視した
 ☒ 非常に重視した
 ☐ 無回答

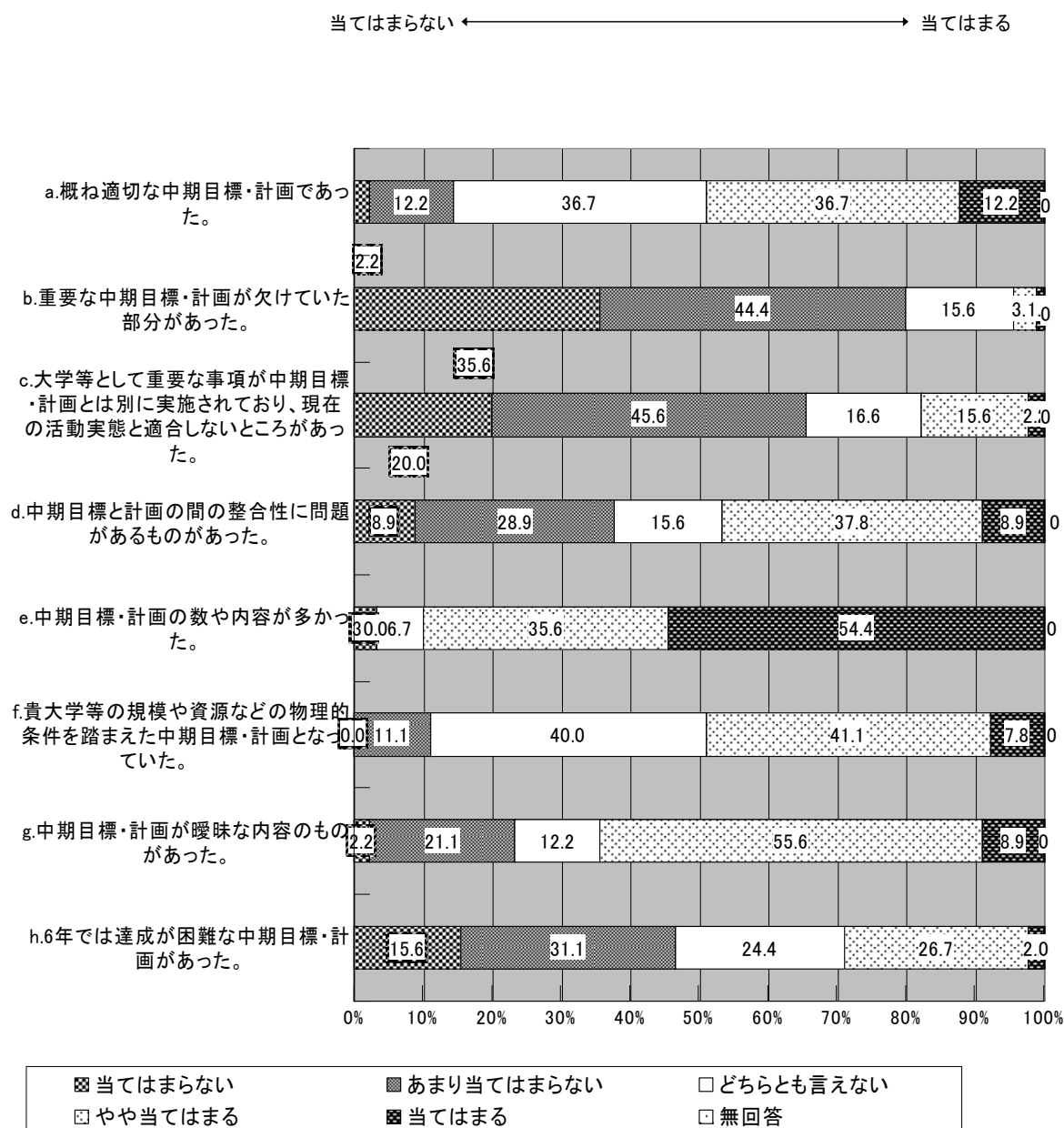
(1-2) 今回の達成状況報告書の形式や作成方法は適切と思われましたか。



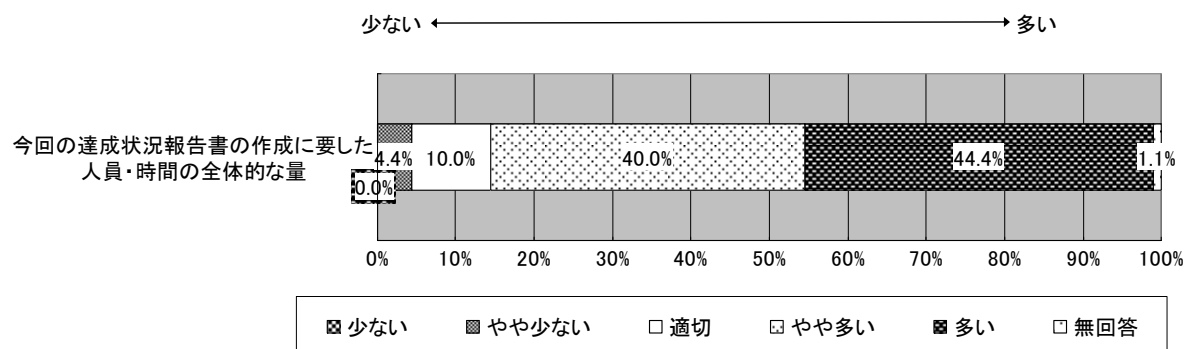
(1-3) 今回の評価では、中期計画の実施状況のみでなく、それが実際に機能し、成果が得られているかという点を重視いたしました。貴大学等において、達成状況報告書に成果を示すのに困難な点がありましたか。



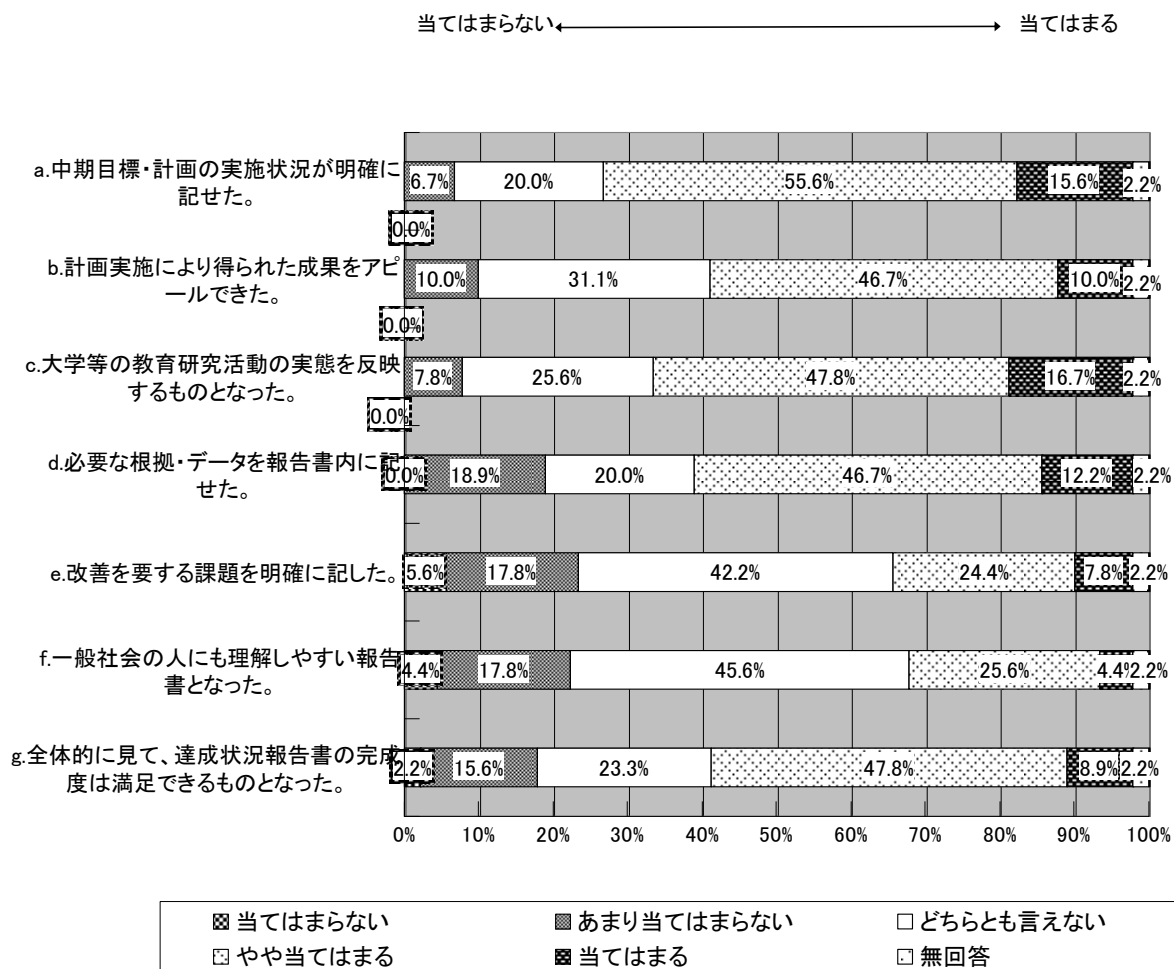
(1-5) 達成状況報告書の作成時点でみて、貴大学等の中期目標・計画に、達成状況報告書の記述を困難とする点がありましたか。



(1-6) 貴大学等において今回の達成状況報告書の作成（現況調査表については含みません）に要した人員・時間の全体的な量は、法人評価の目的やその意義と比べて、多かったですか、少なかったですか。

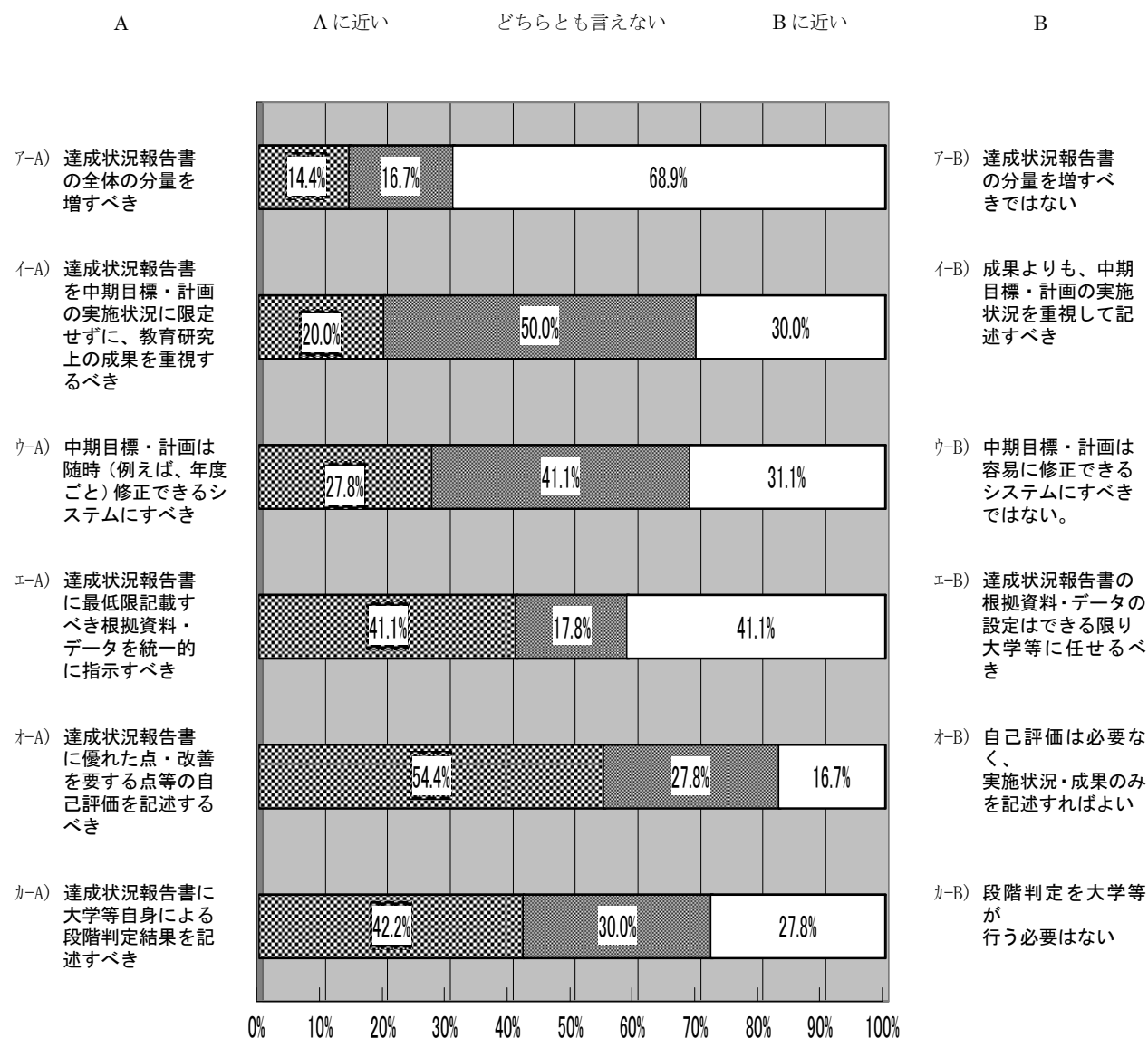


(1-7) 今回作成した達成状況報告書について、どのような感想をお持ちですか。



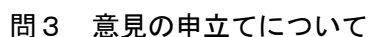
問2 今後の達成状況報告書のあり方へのご意見

(2-1) これまで達成状況報告書の作成のあり方について、大学等から様々な異なる意見をいただいております。今後の法人評価において達成状況報告書を作成する場合には、どのような方法が望ましいと思われるですか。



評価結果の内容について、全体的にどのように思われましたか。

評価結果の内容について、全体的にどのように思われましたか。

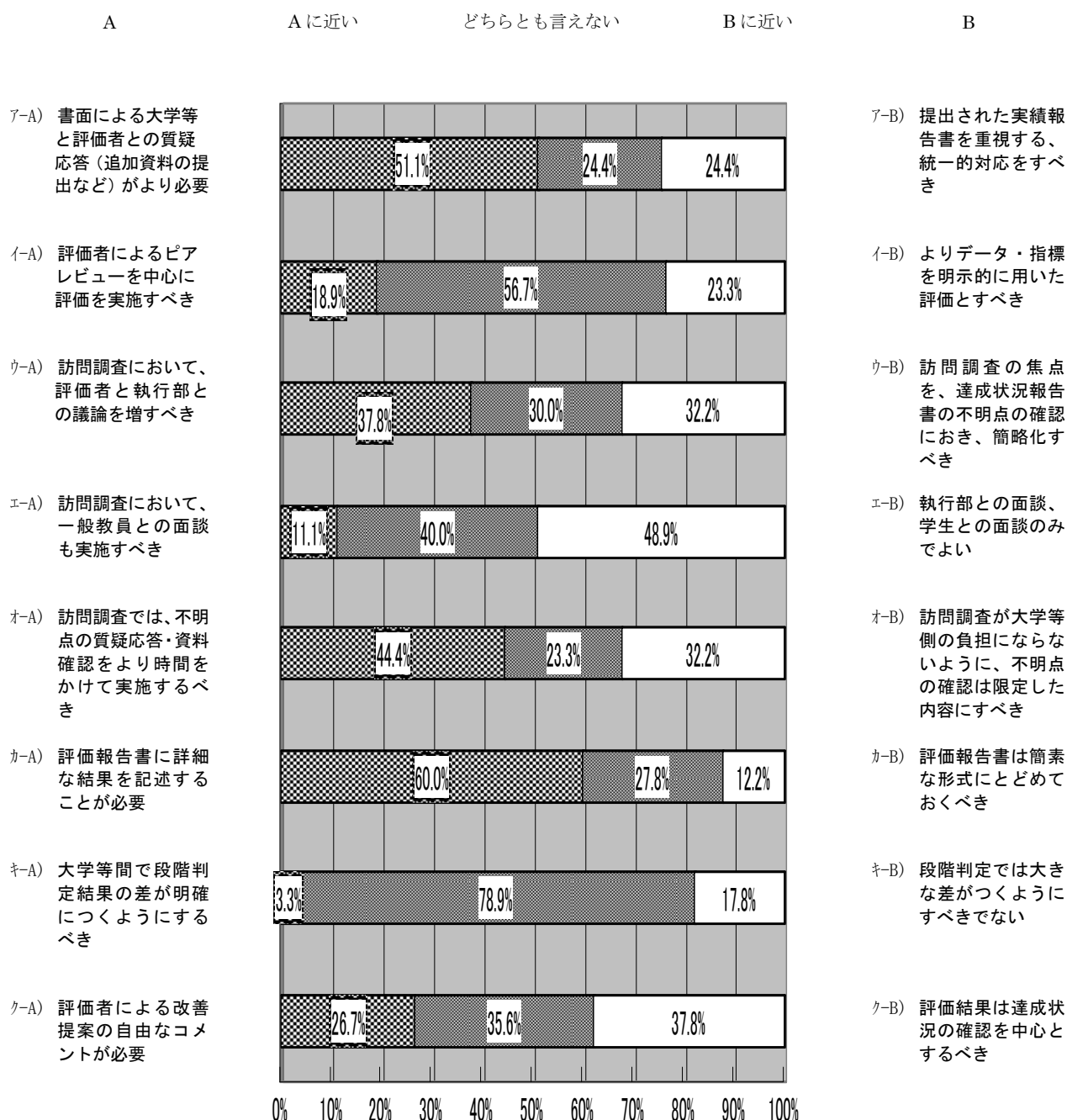


評価報告書案に対して、意見の申立てを行いましたか。

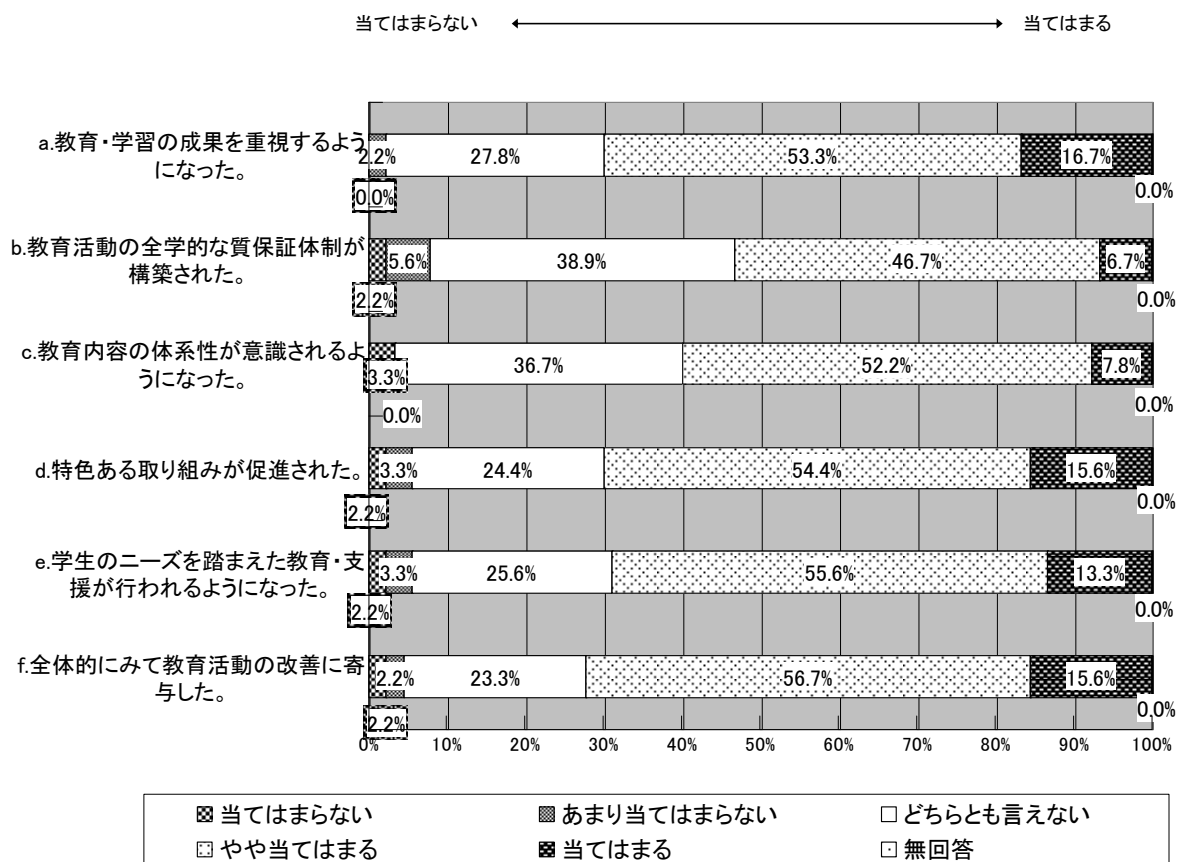


問5 今後の評価委員会等による達成状況評価のあり方についてのご意見

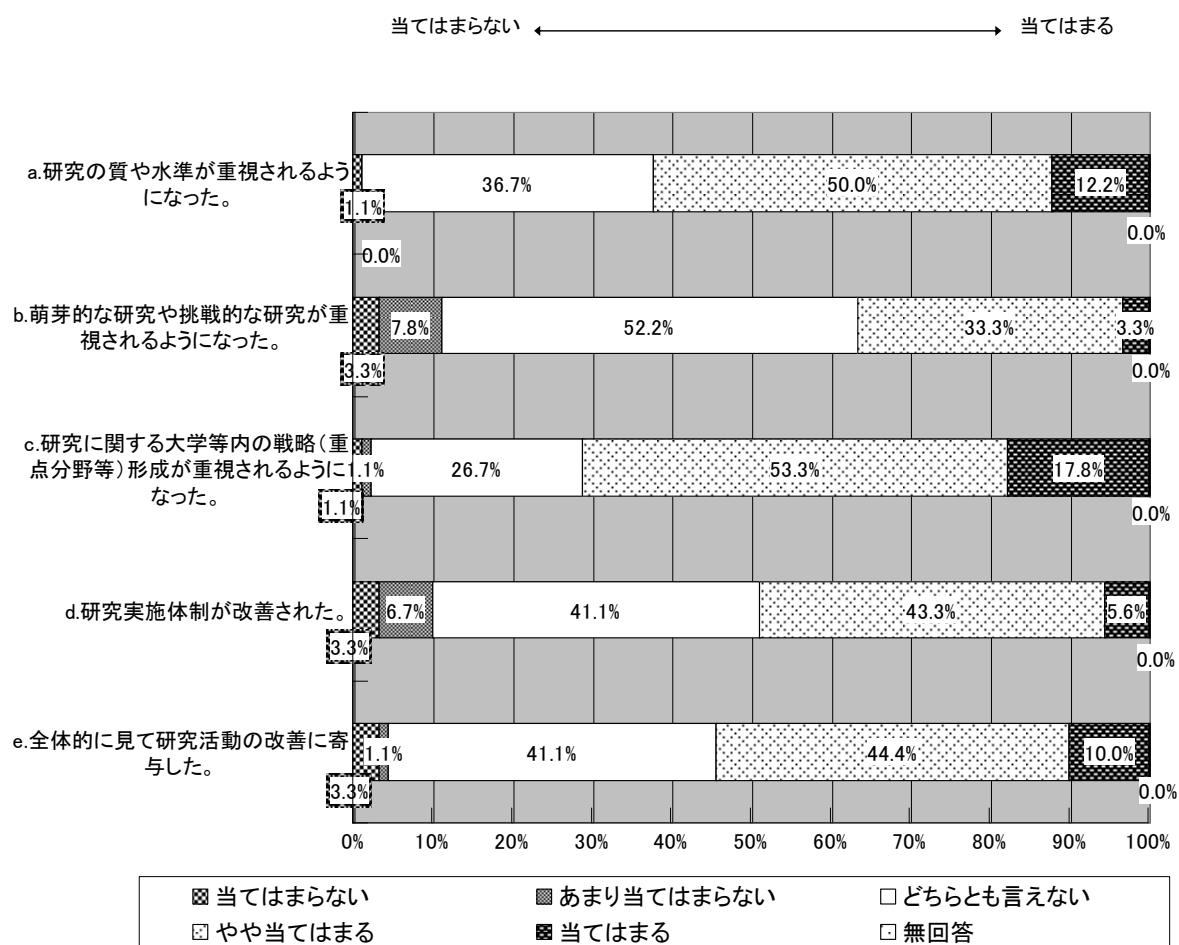
(5-1) 今後の、評価委員会等による達成状況評価のあり方に関して、どのような方法が望ましいと思われますか。



②教育活動について

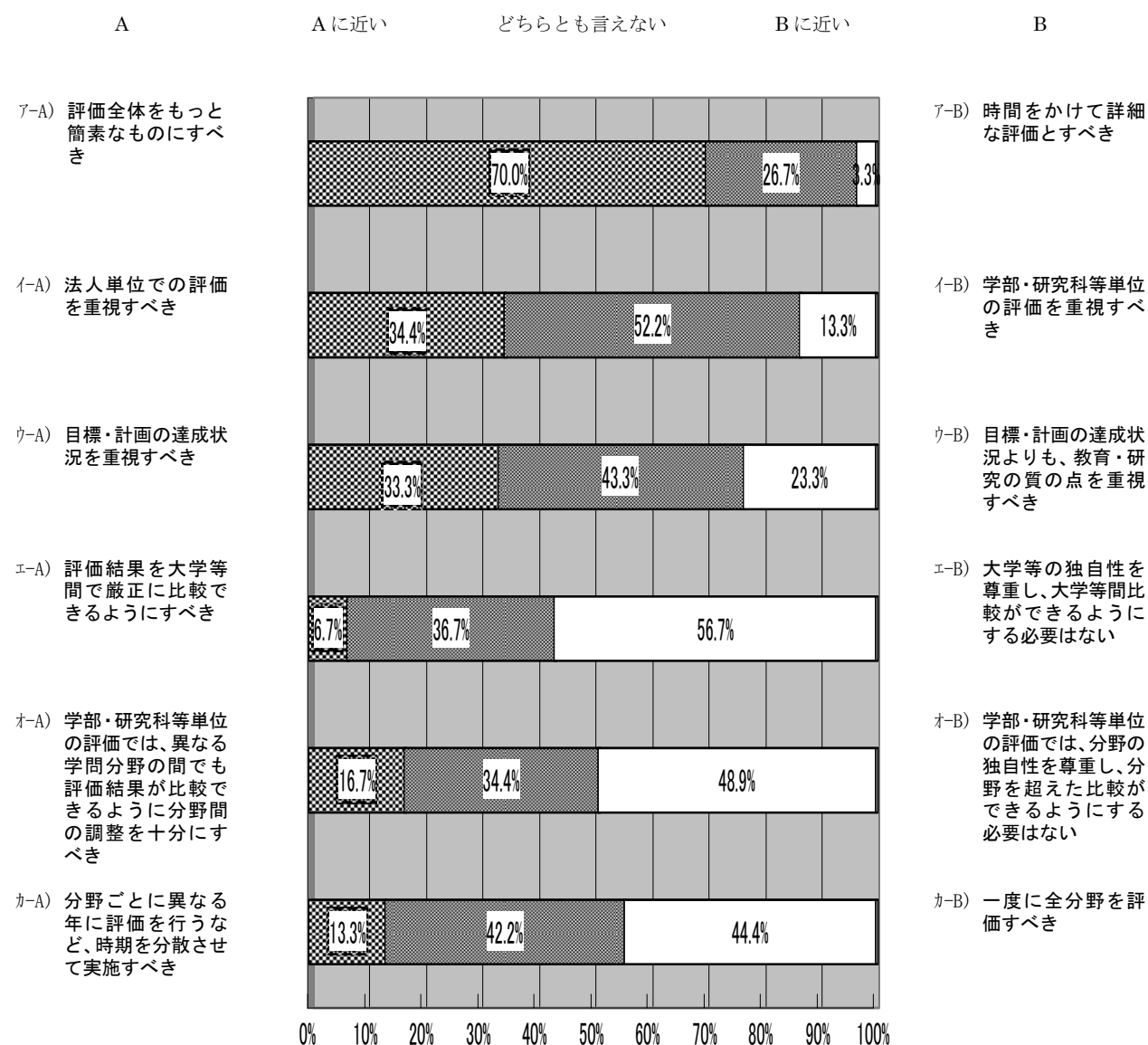


③研究活動について



IV 評価全般について

問1 今回の評価は、国立大学法人評価委員会の要請により、法人を単位とする達成状況評価と、学部・研究科等を単位とする現況分析を実施いたしました。貴大学等でのそれらへの対応の経験を踏まえて、今後の評価のあり方としてどのようなものが望ましいと思いますか。



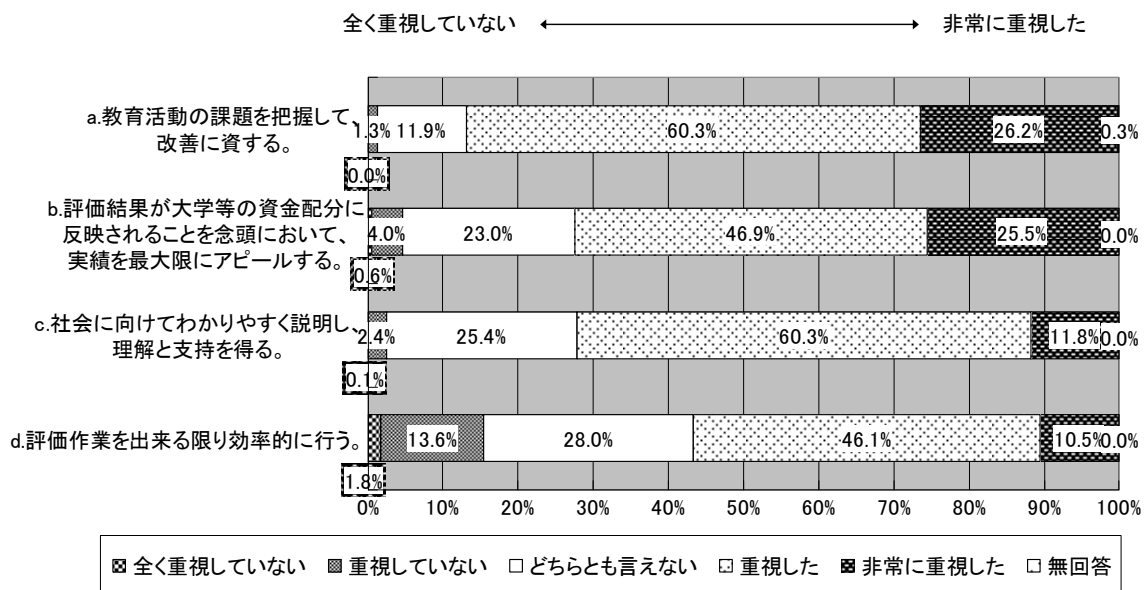
「国立大学法人及び大学共同利用機関法人における教育研究の状況についての評価」

学部・研究科等の教育の「現況分析」に関する検証アンケート結果

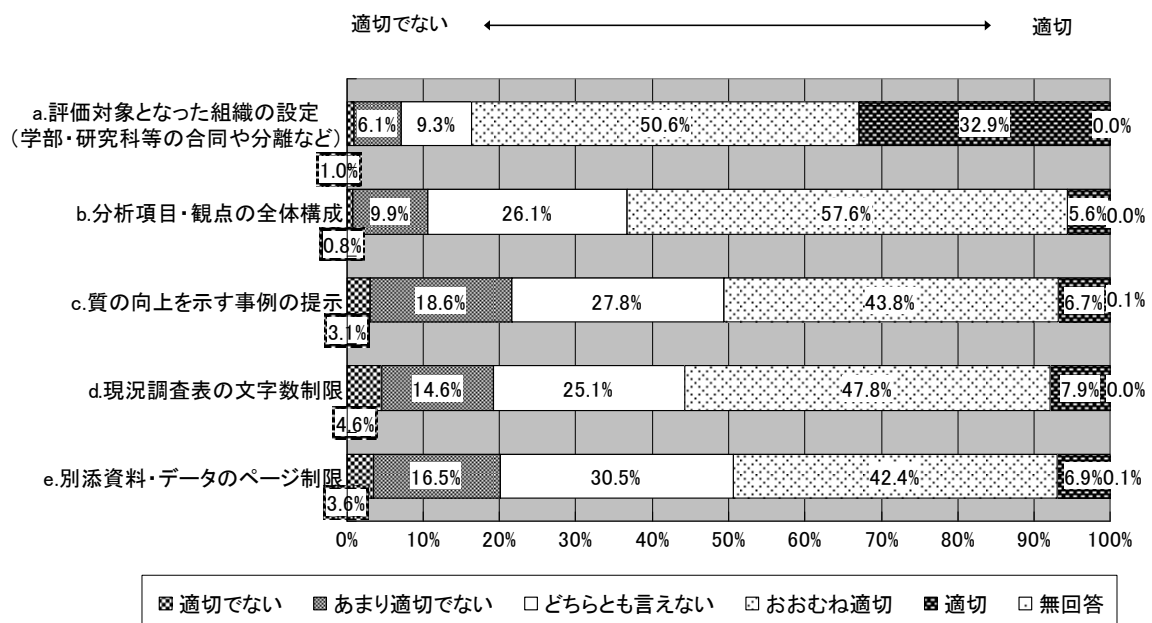
I 貴学部・研究科等における「現況調査表」の作成作業について

問1 現況調査表の作成について

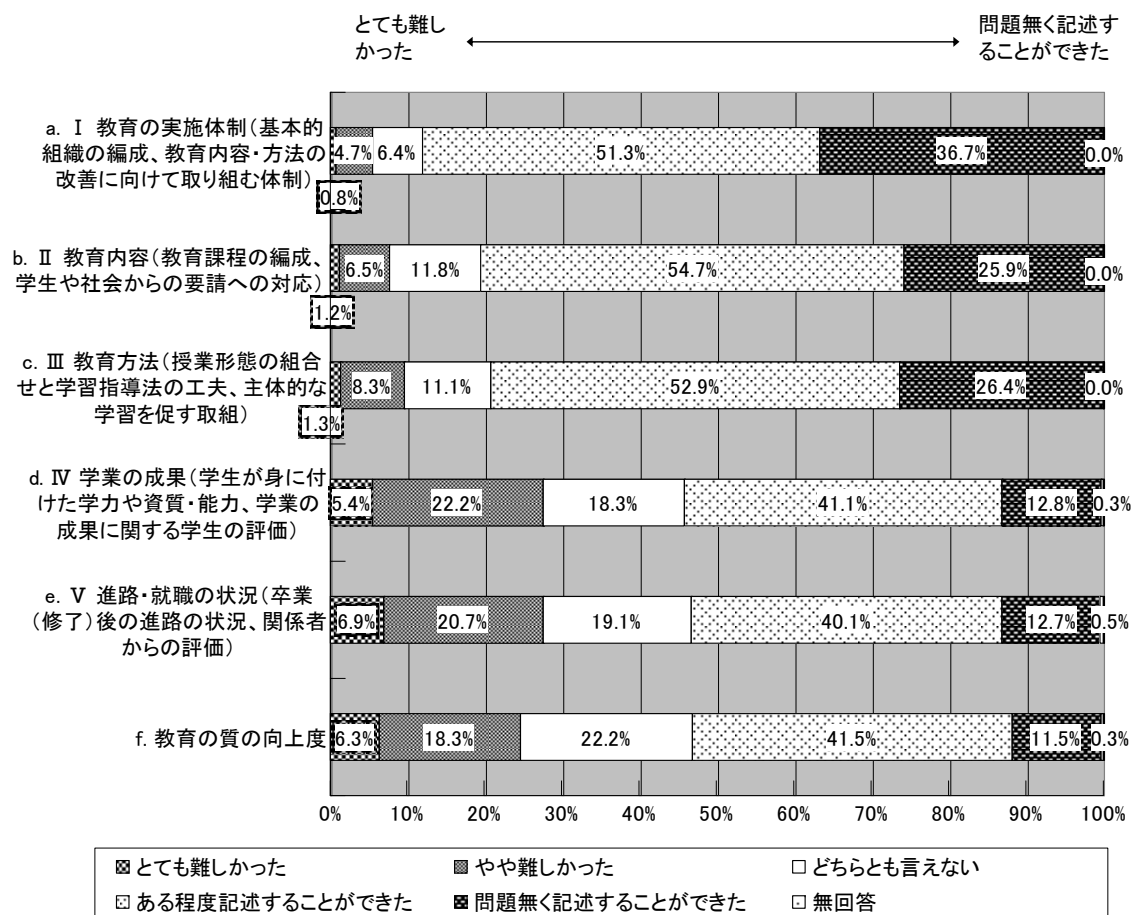
(1-1) 今回の「現況調査表」の作成過程において、貴学部・研究科等では以下の点をどの程度重視して作業をされましたか。



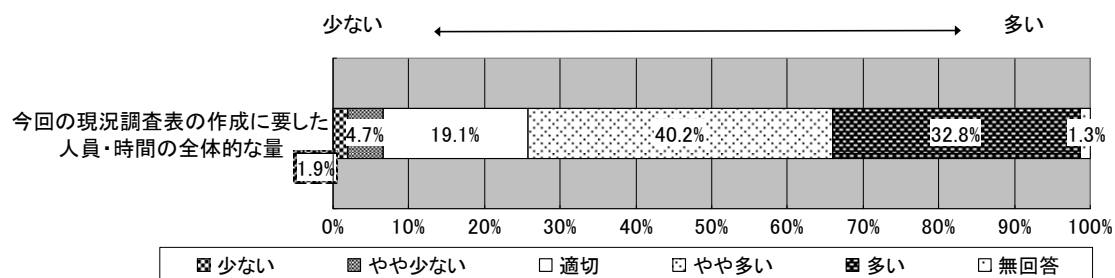
(1-2) 今回の現況調査表の形式や作成方法は適切と思われましたか。



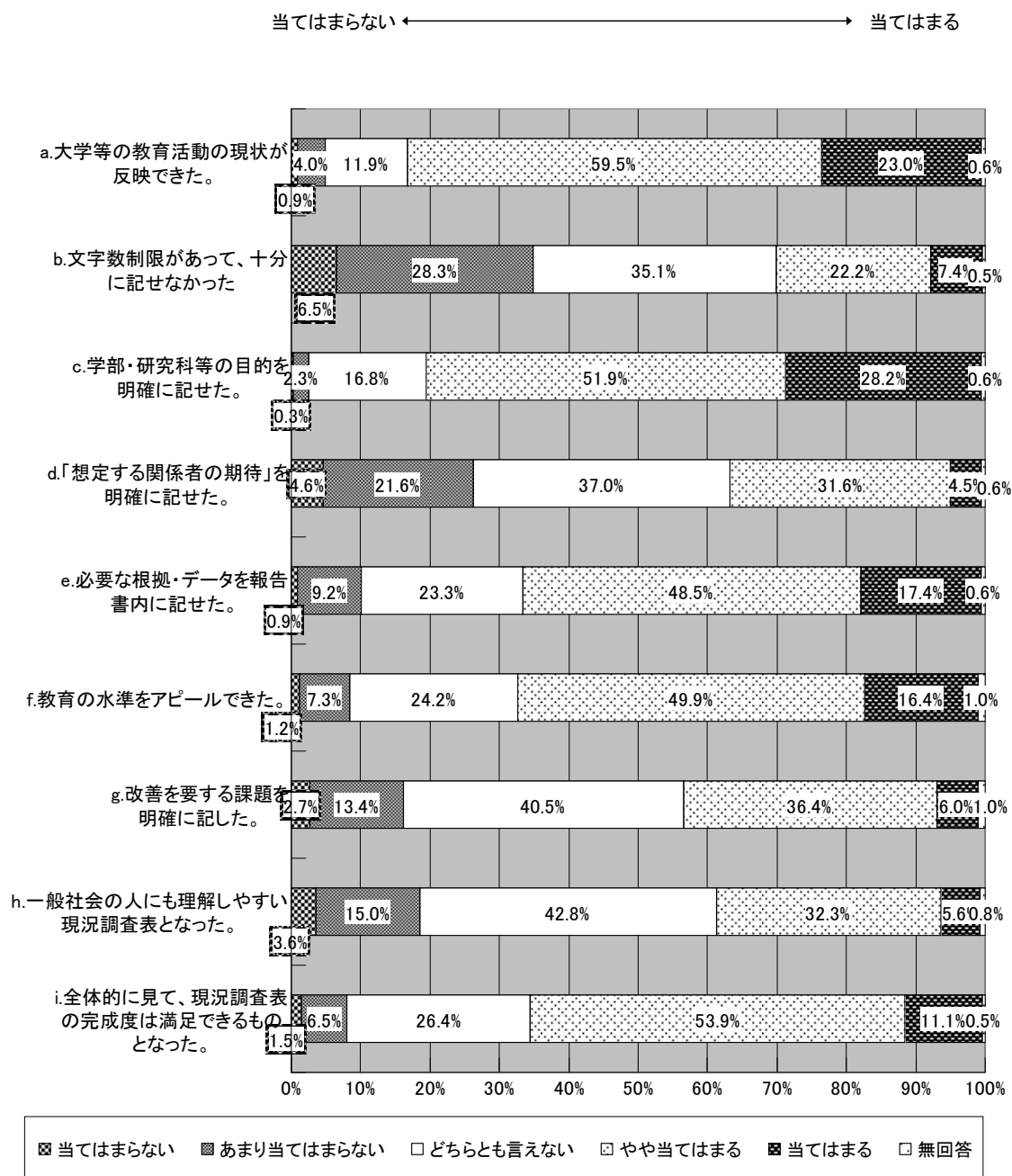
(1-3) 今回の現況調査では、以下の分析項目・観点ごとに貴学部・研究科等において自己分析を行い、記述することをお願いしました。それぞれの分析項目について、貴学部・研究科等では分析・記述を問題なく行うことができましたか。



(1-5) 貴学部・研究科等において今回の現況調査表の作成に要した人員・時間の全体的な量は、法人評価の目的やその意義と比べて、多かったですか、少なかったですか。

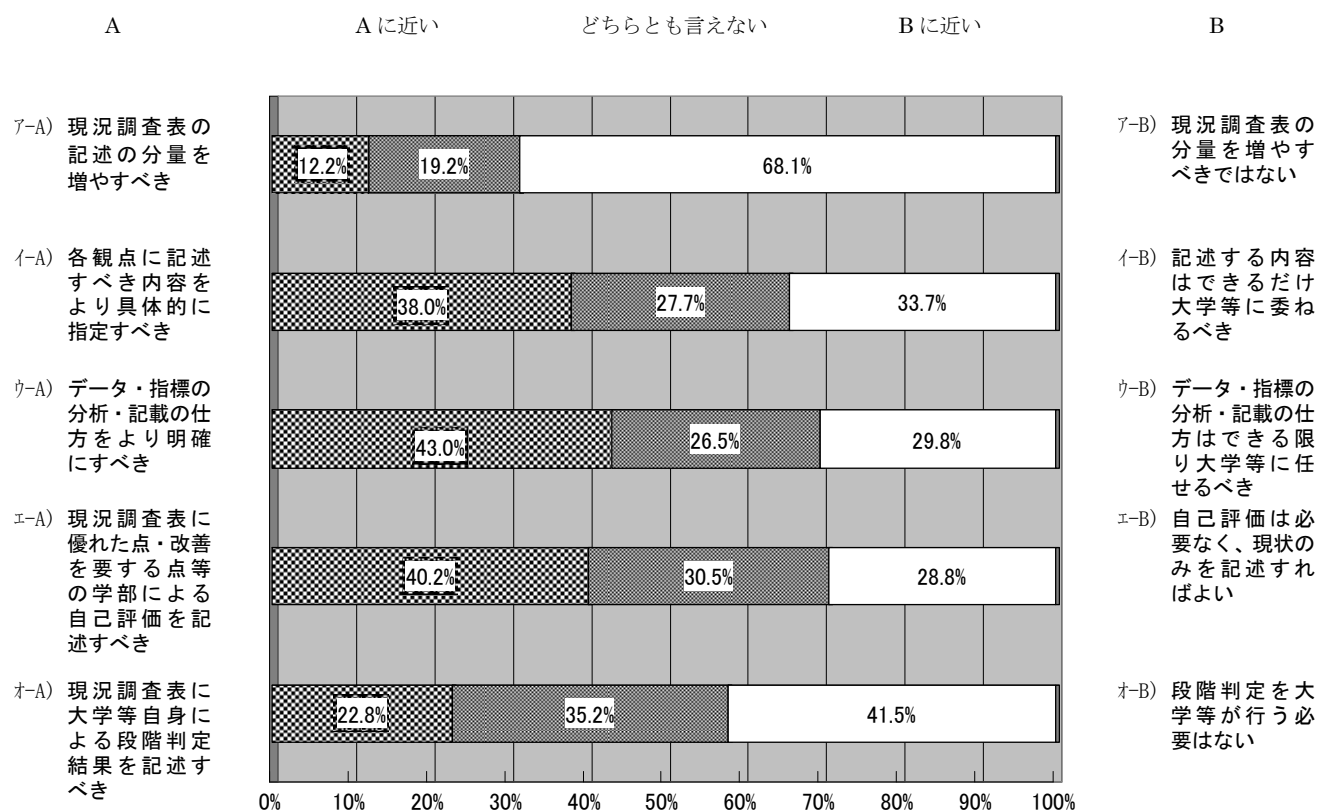


(1-6) 作成された現況調査表について、どのような感想をお持ちですか。



問2 今後の現況調査表の作成のあり方へのご意見

(2-1) これまで現況調査表の作成のあり方について、大学等から様々な異なる意見をいただいております。今後と同様に現況調査表を作成する場合には、どのような方法が望ましいと思われますか。



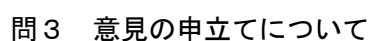
当機構の現況分析部会において行った現況分析(評価)の方法・結果についてお伺いします。

今回の評価の方法について、貴学から見て適切であると思われましたか。以下の項目ごとに当てはまる番号に○を付けてください(評価方法について不明であり回答できない場合には空欄としてください)。



今回の現況分析結果の内容について、どのように思われましたか。

今回の現況分析結果の内容について、どのように思われましたか。

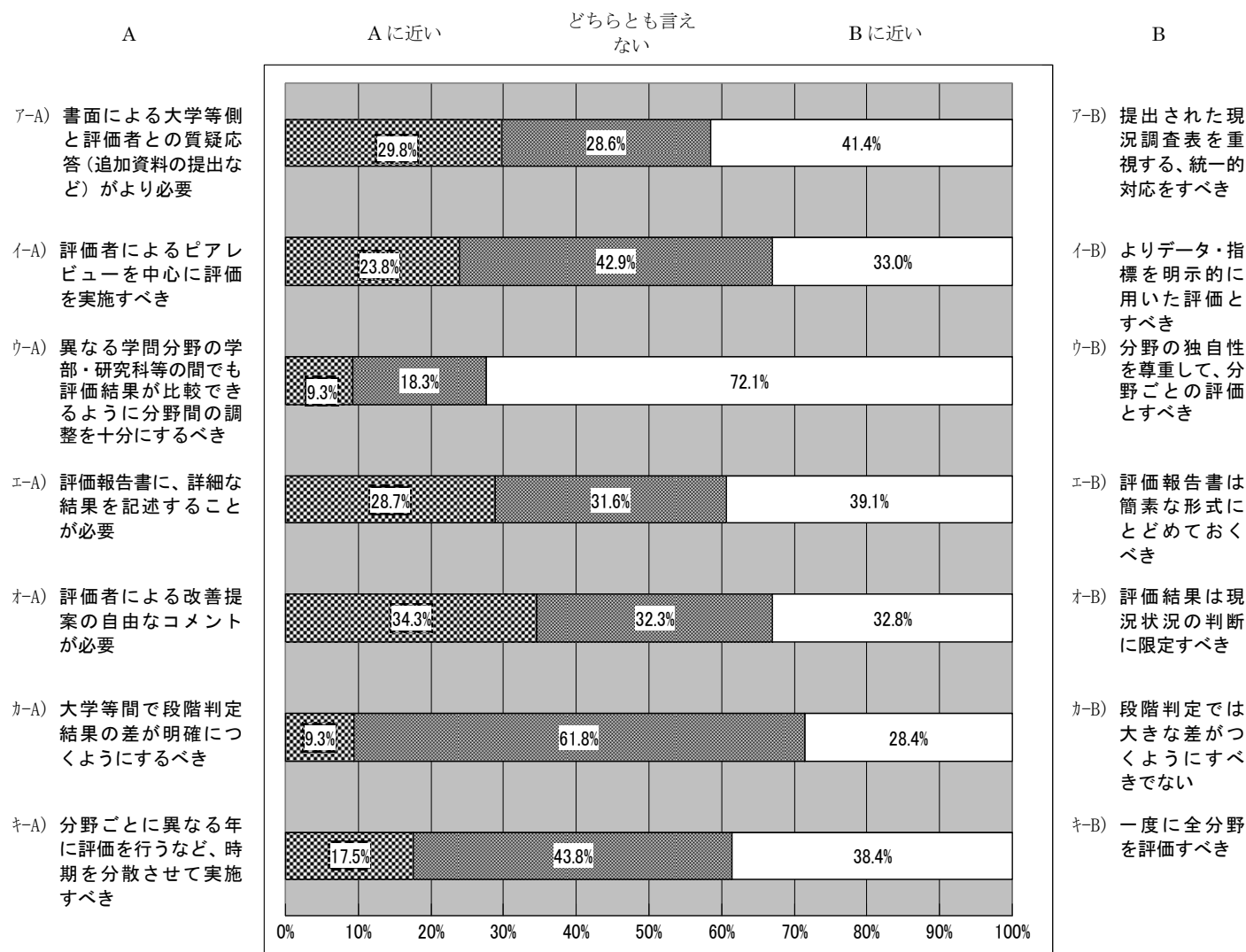


現況分析結果案に対して、意見の申立てを行いましたか。



問5 今後の評価部会による現況分析（評価）のあり方についてのご意見

(5-1) 今後の現況分析（評価）のあり方に関して、各設問のどちらの考えにより近いですか。



問1 今回行った、教育の現況を自己分析して報告し、外部者の評価を受けるという一連の過程によって、貴学部・研究科等において次の効果や影響があった（あるいは今後に顕在化する）と思いますか。



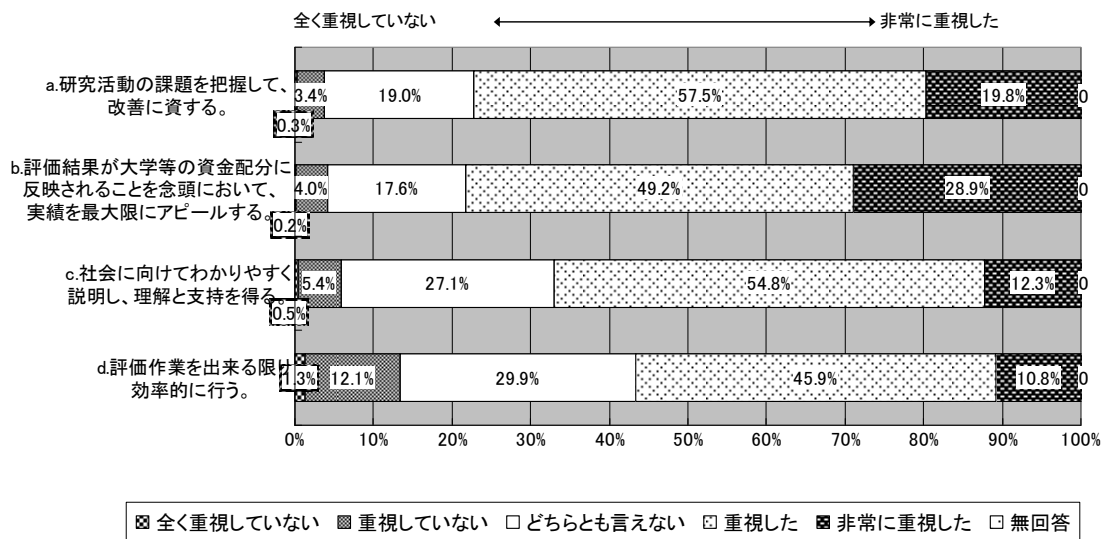
「国立大学法人及び大学共同利用機関法人における教育研究の状況についての評価」

学部・研究科等の研究の「現況分析」に関する検証アンケート結果

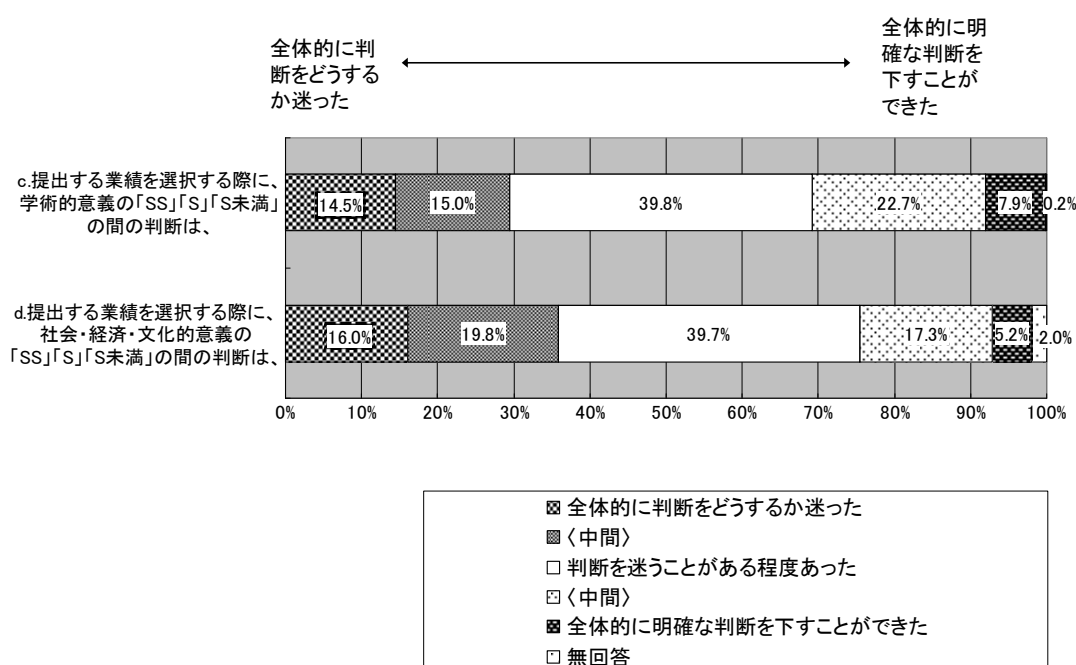
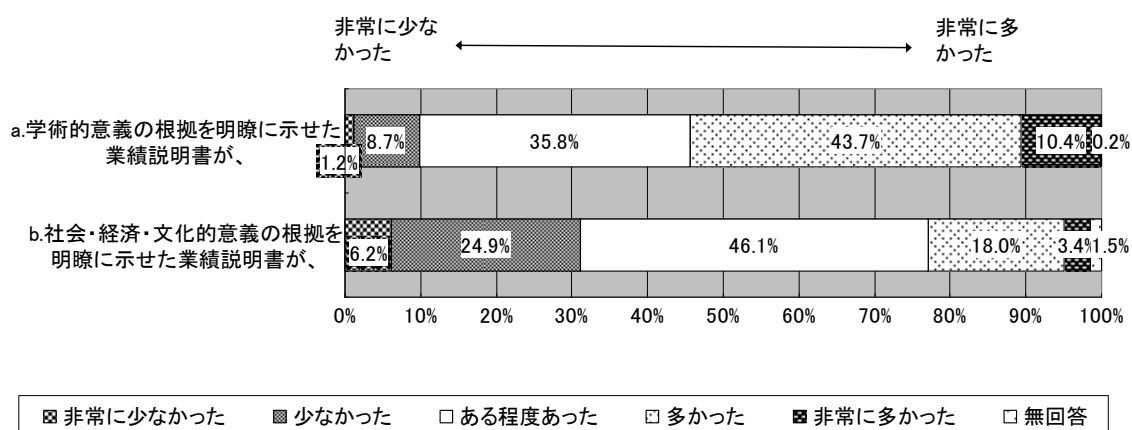
I 貴学部・研究科等における「現況調査表」の作成作業について

問 1 現況調査表の作成について

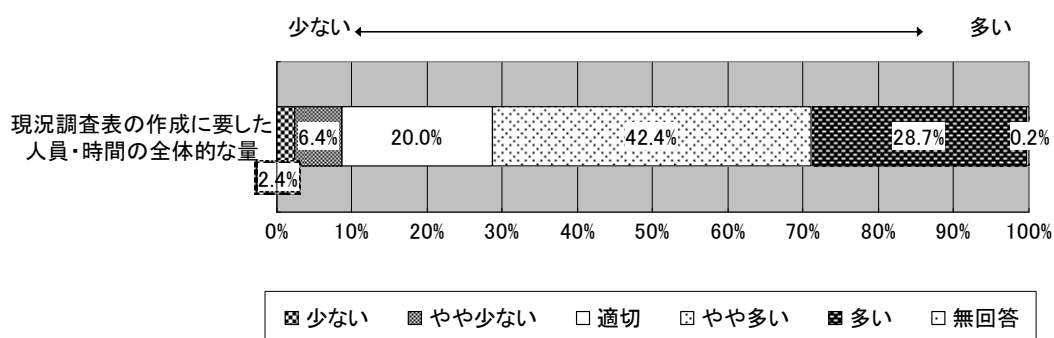
(1-1) 今回の「現況調査表」の作成過程において、貴学部・研究科等では以下の点をどの程度重視して作業をされましたか。



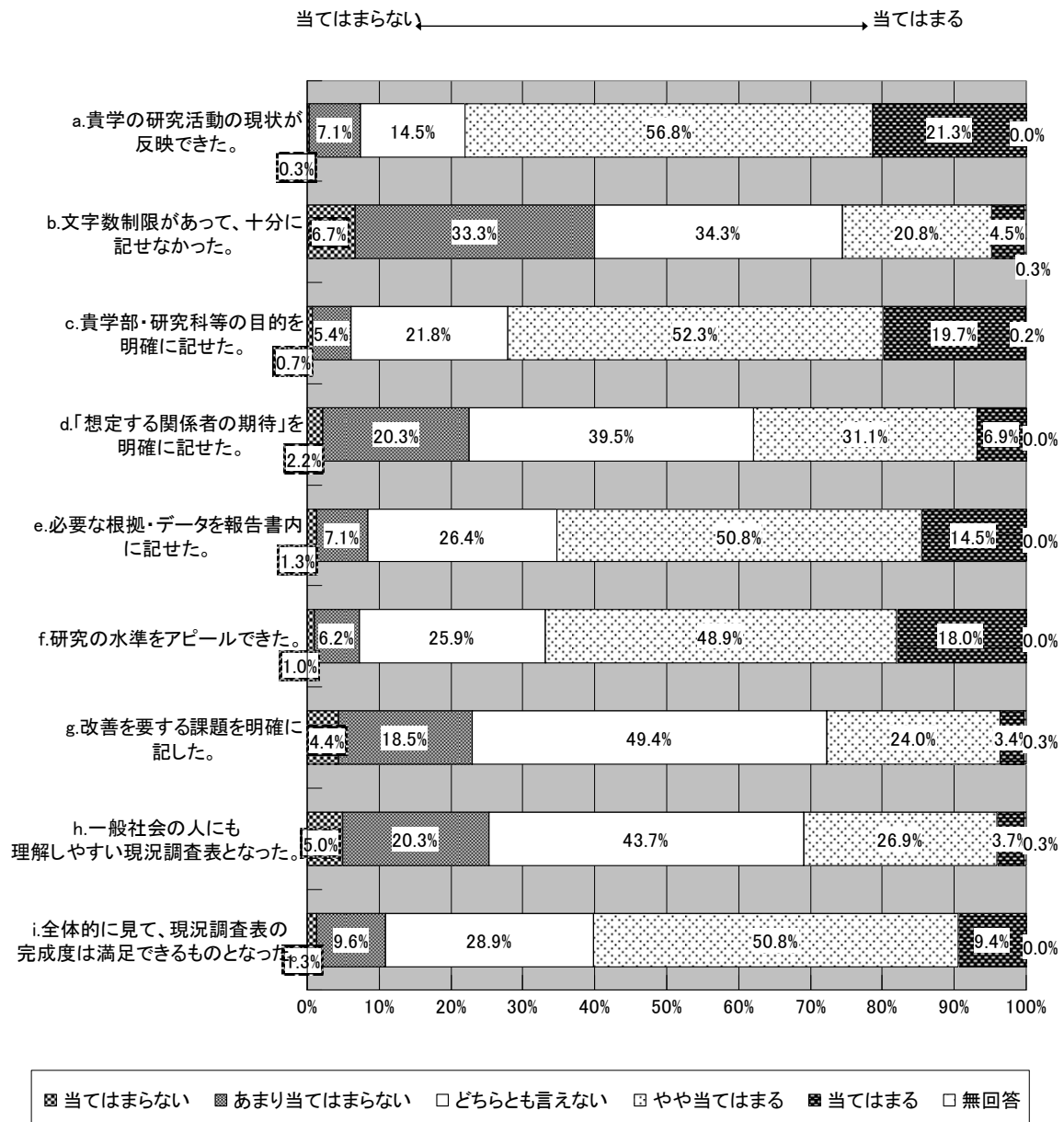
(1-4) 研究に関する現況調査では、「研究業績説明書」の提出をお願いしました。研究業績説明書の学内での作成・提出分の選択について、以下の項目に当てはまる番号に○を付けてください。



(1-6) 貴学部・研究科等において今回の現況調査表の作成に要した人員・時間の全体的な量は、法人評価の目的やその意義と比べて、多かったですか、少なかったですか。

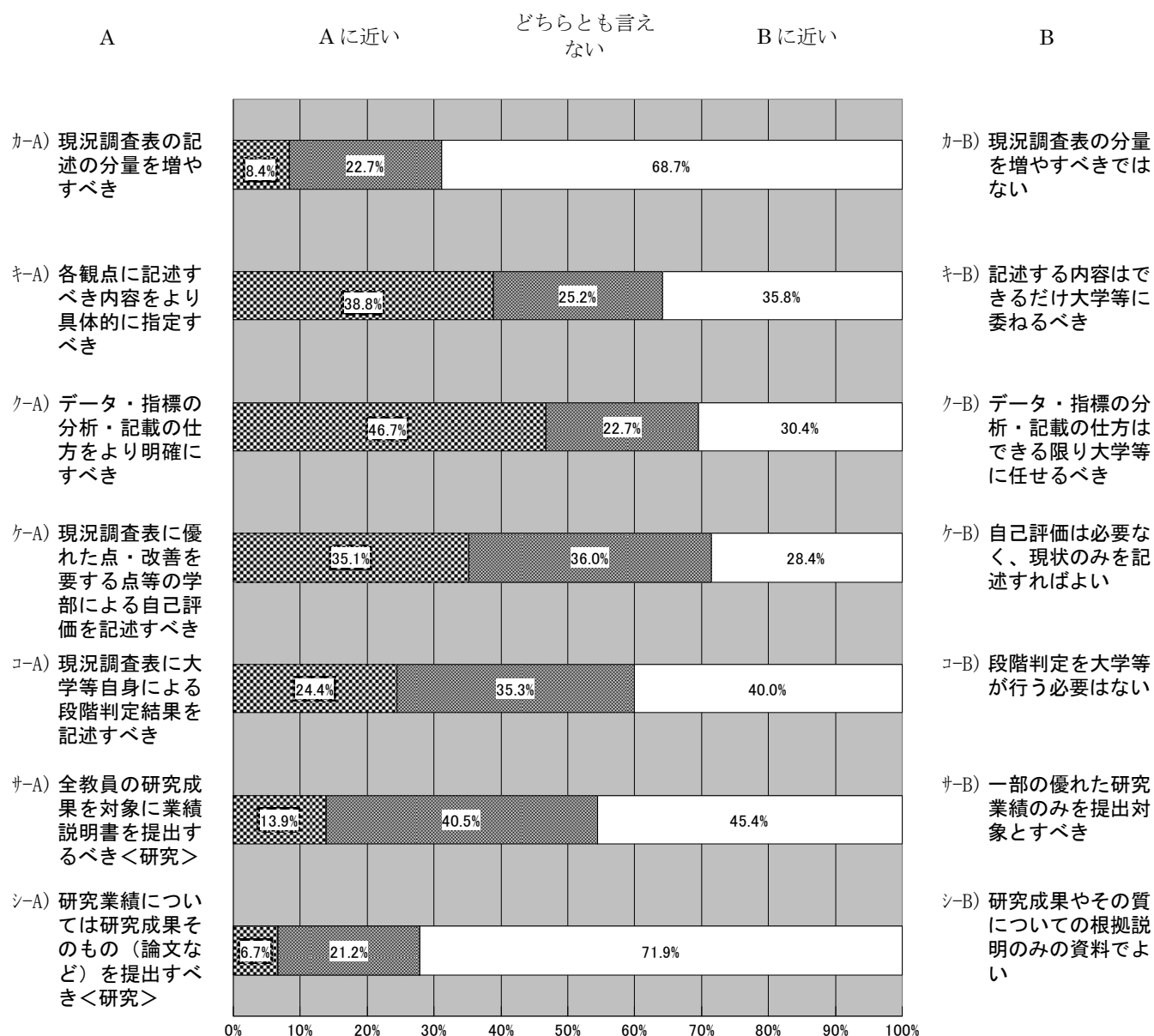


(1-7) 作成された現況調査表について、どのようなご感想をお持ちですか。



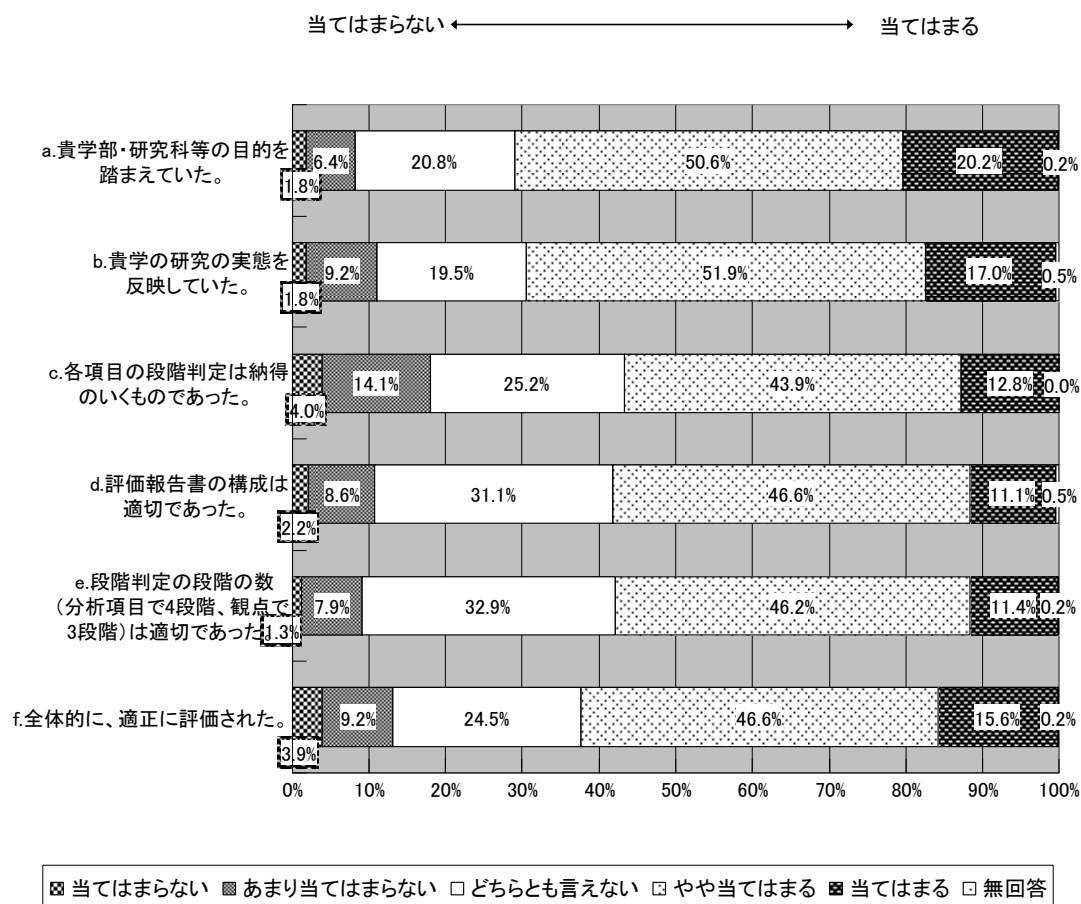
問2 今後の現況調査表の作成のあり方へのご意見

(2-1) これまで現況調査表の作成のあり方について、大学等から様々な異なる意見をいただいております。今後と同様に現況調査表を作成する場合には、どのような方法が望ましいと思われますか。



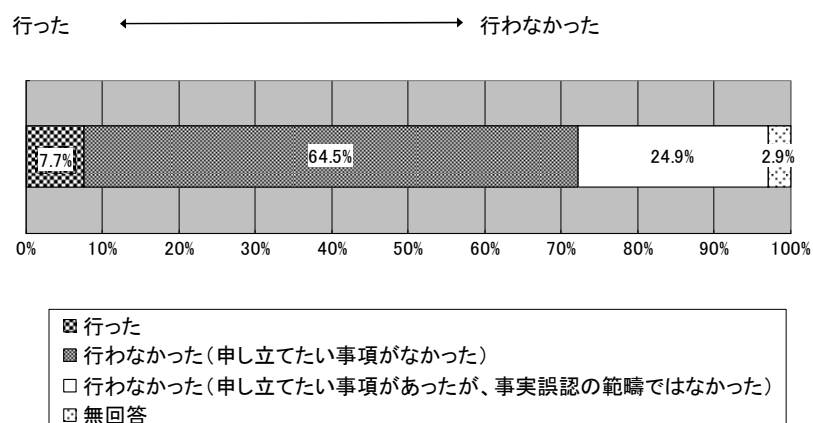
問2 現況分析結果（評価報告書）について

今回の現況分析結果の内容について、どのように思われましたか。



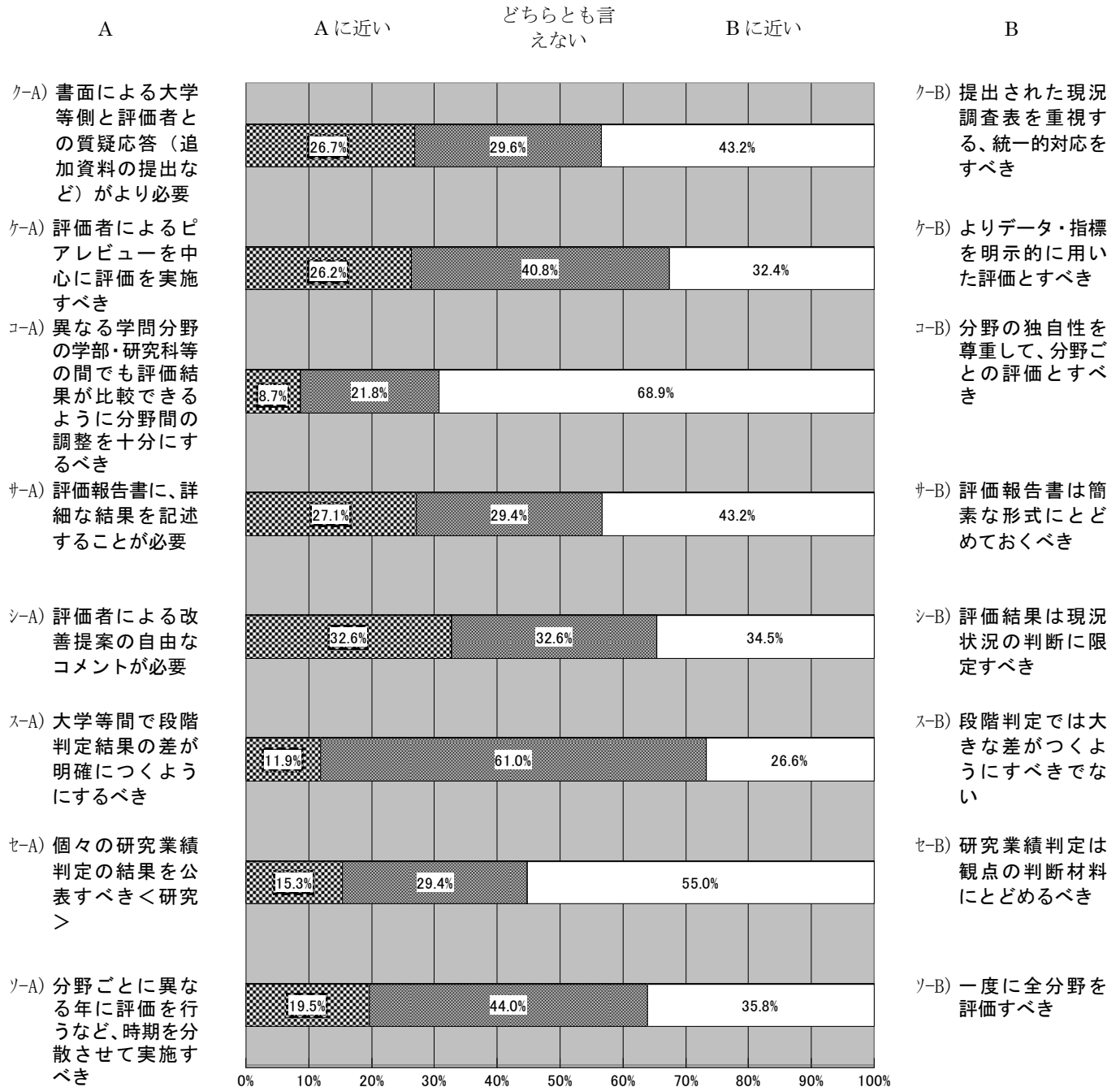
問3 意見の申立てについて

現況分析結果案に対して、意見の申立てを行いましたか。



問5 今後の評価部会による現況分析（評価）のあり方についてのご意見

(5-1) 今後の現況分析（評価）のあり方に関して、各設問のどちらの考えにより近いですか。



問1 今回行った、研究の現況を自己分析して報告し、外部者の評価を受けるという一連の過程によって、貴学部・研究科等において次の効果や影響があった（あるいは今後に顕在化する）と思いますか。



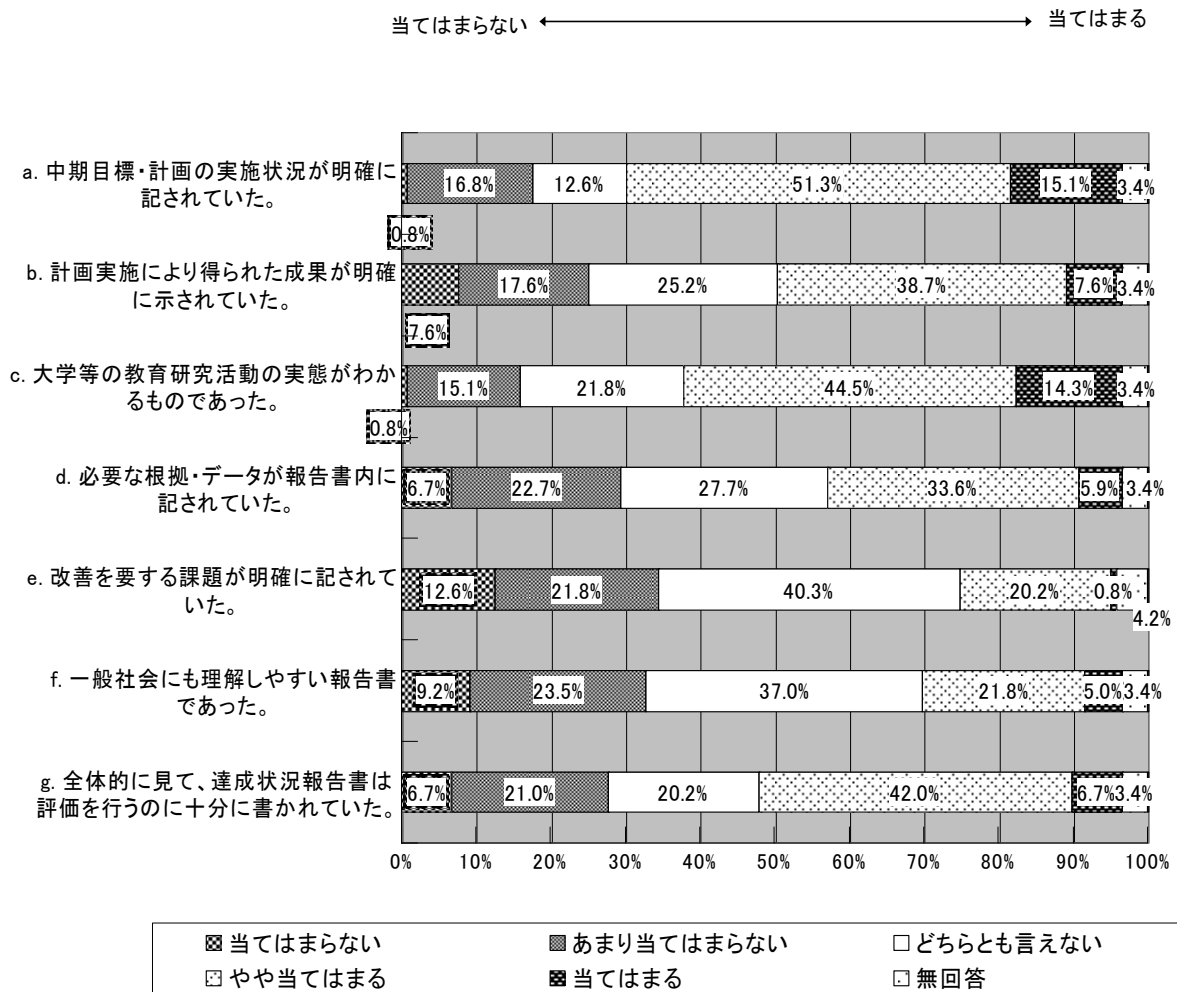
「国立大学法人及び大学共同利用機関法人における教育研究の状況についての評価」

教育研究の「中期目標の達成状況評価」に関する検証アンケート

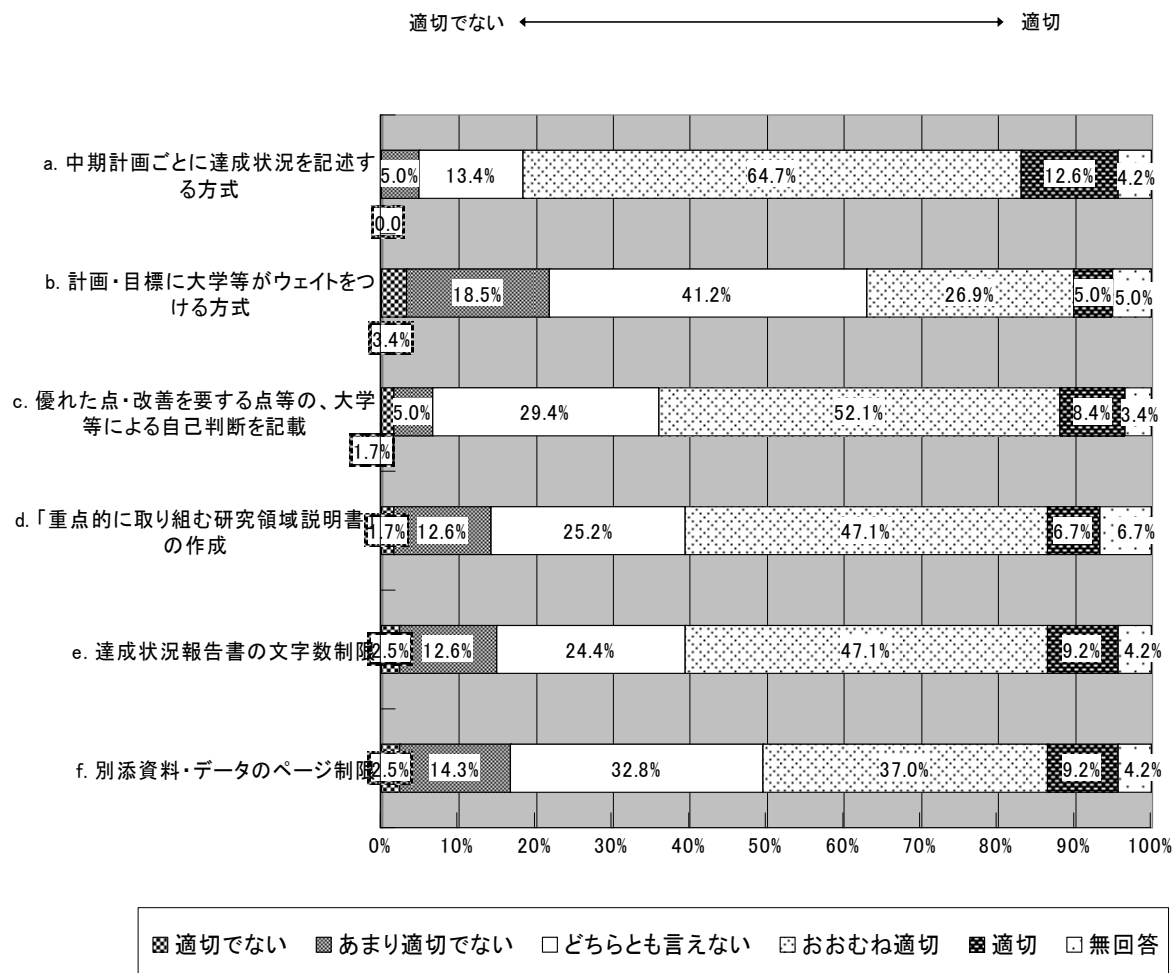
I 大学等から提出された「達成状況報告書」について

問 1 今回の評価で大学等から提出された達成状況報告書について

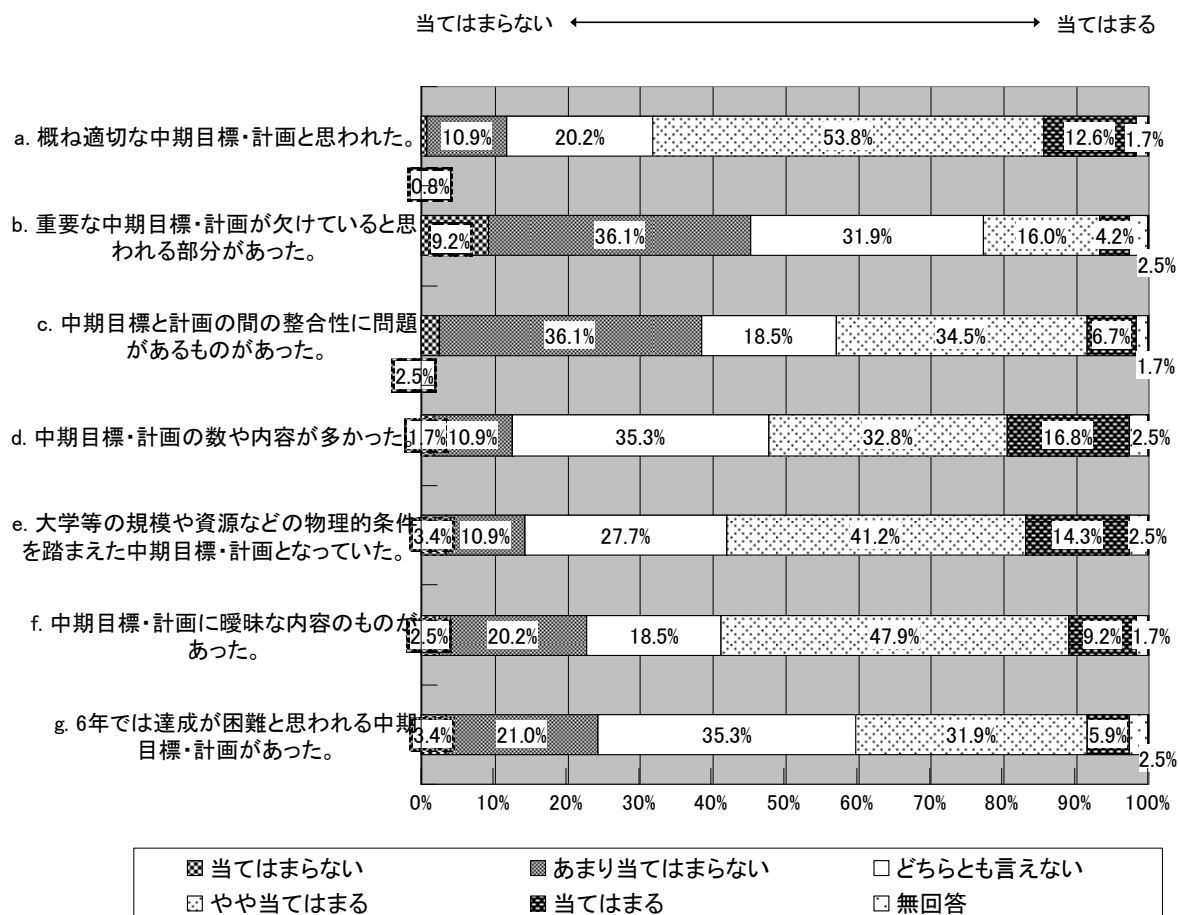
(1-1) 評価担当大学等から提出された達成状況報告書は、全体的に評価を行いやすいものでしたか。



(1-2) 今回の達成状況報告書の形式や作成方法は、評価者が評価作業を行うのに適切なものと思われましたか。

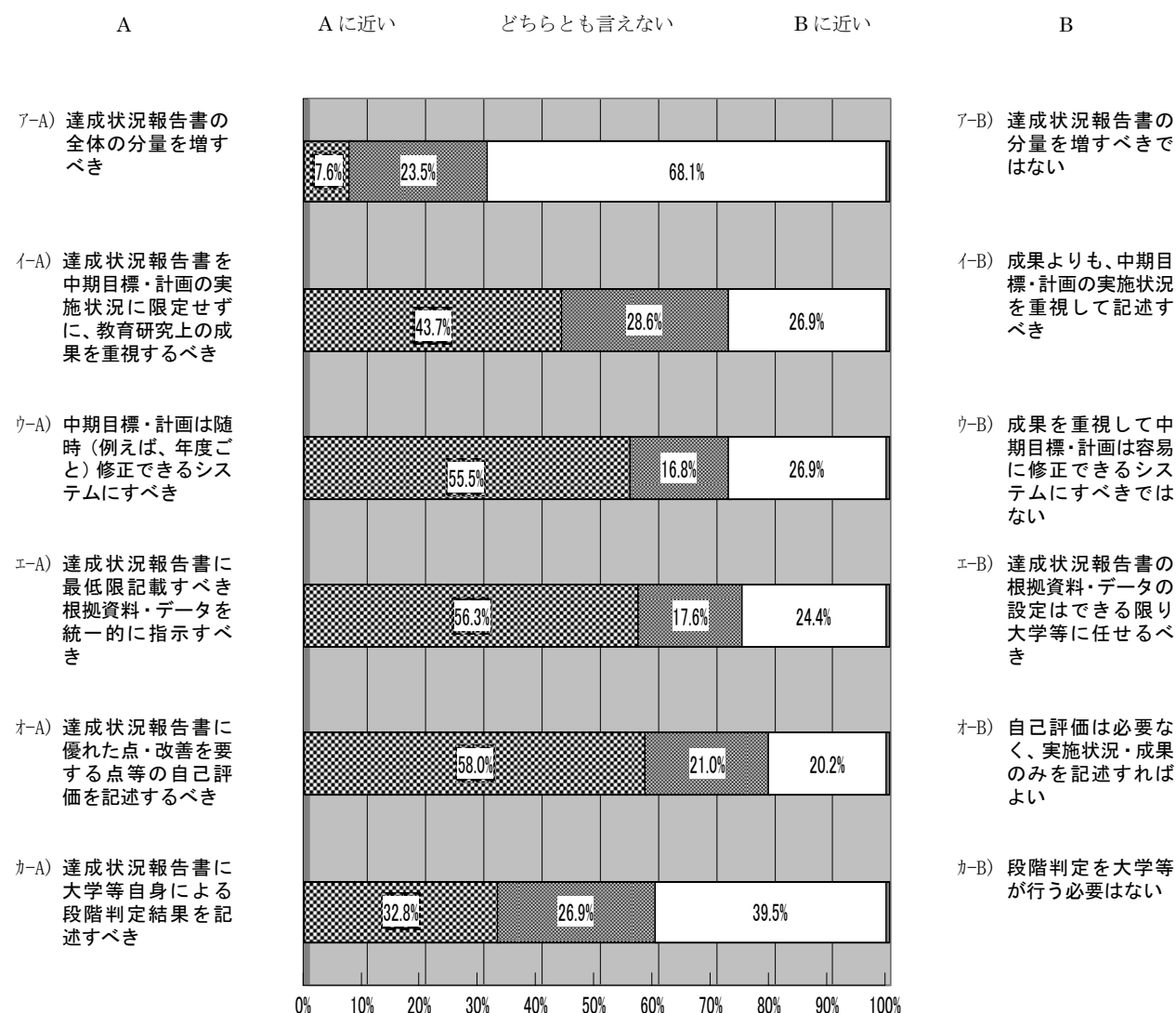


(1-4) 今回の評価は、個々の大学等の中期目標・計画に基づいて行いました。評価を担当された大学等の中期目標・計画自体に、評価を困難にする点があると感じられましたか。

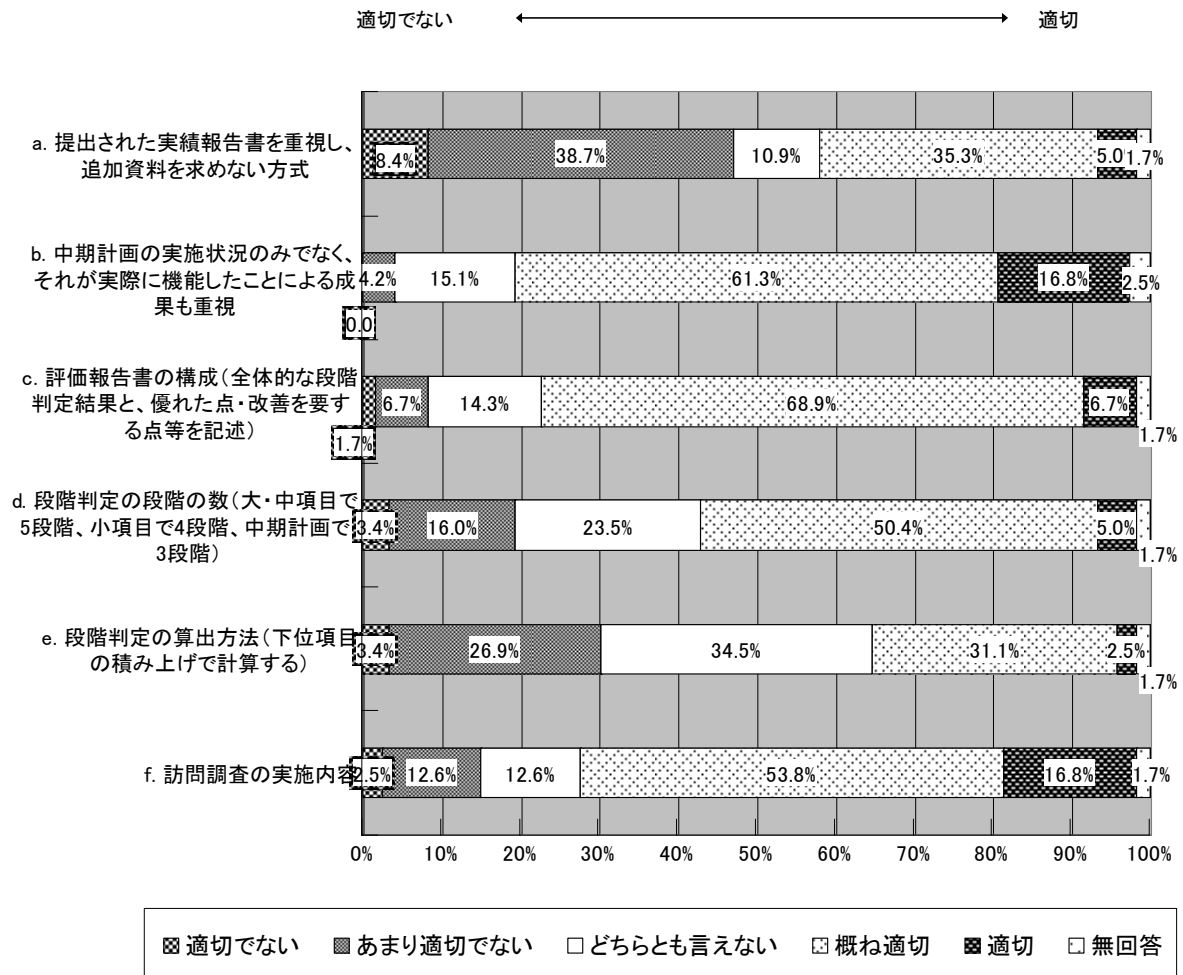


問2 今後の達成状況報告書のあり方へのご意見

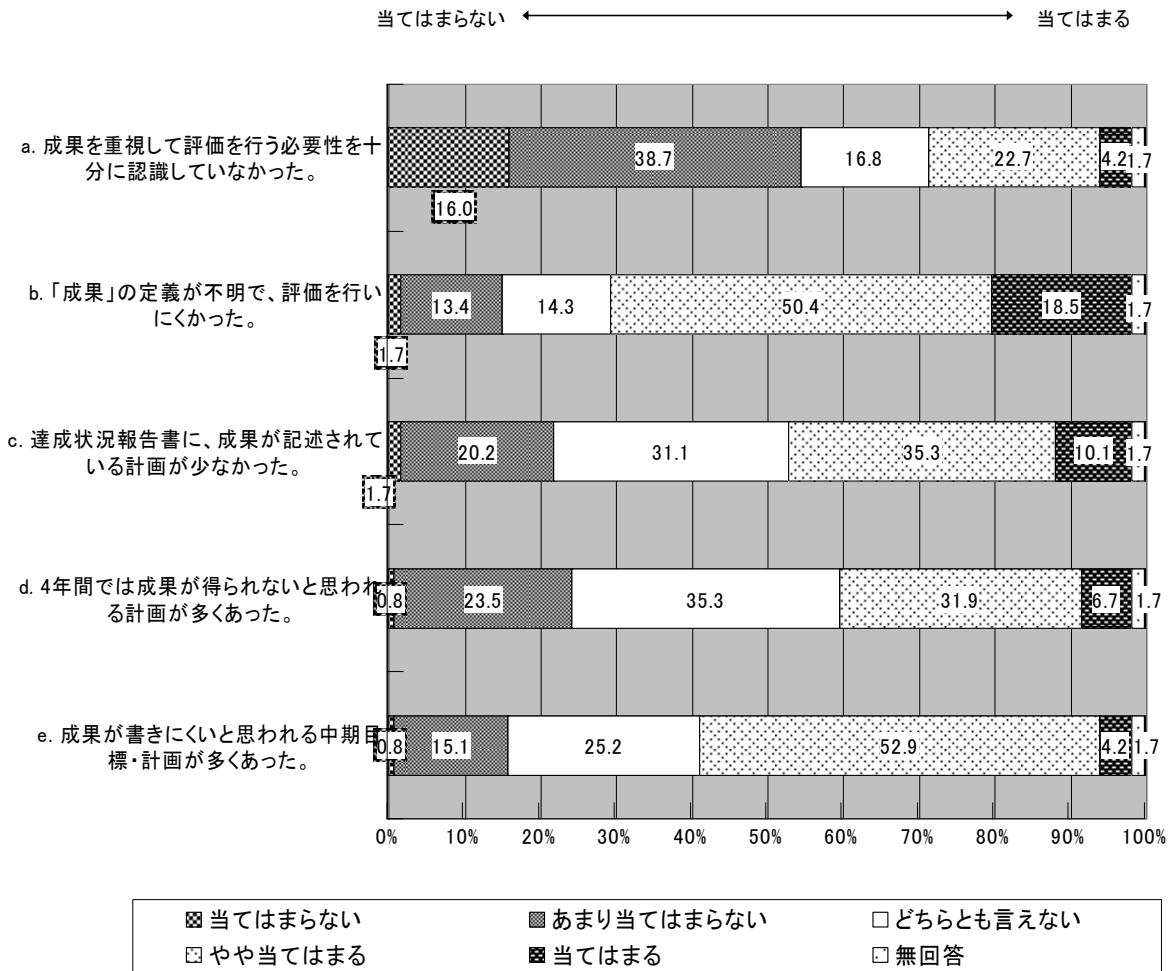
(2-1) これまで達成状況報告書の作成のあり方について、大学等や評価者の方々から様々な異なる意見をいただいております。今後の達成状況報告書の作成のあり方に関して、各設問のどちらの考えにより近いですか。



(1-2) 今回行った評価の方法は適切であると思われましたか。

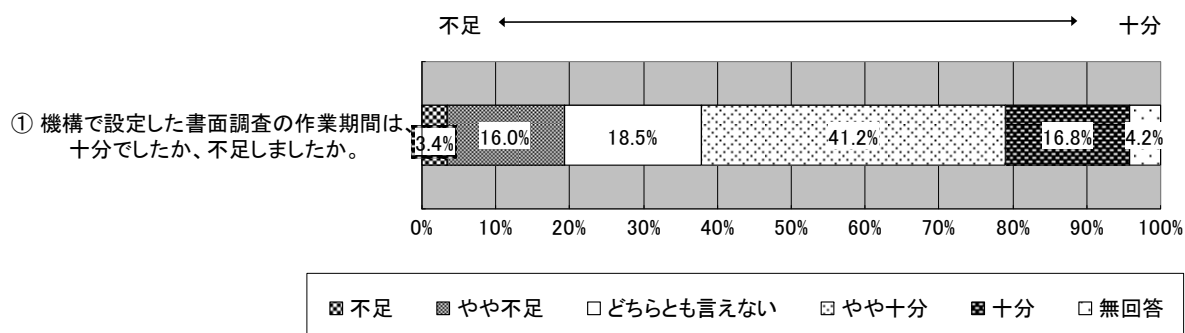


(1-3) 今回の評価では、中期計画の実施状況のみでなく、それが実際に機能し、成果が得られているかを重視いたしました。実際に評価を行ってみて、成果に基づく評価を実施する上で問題がありましたか。

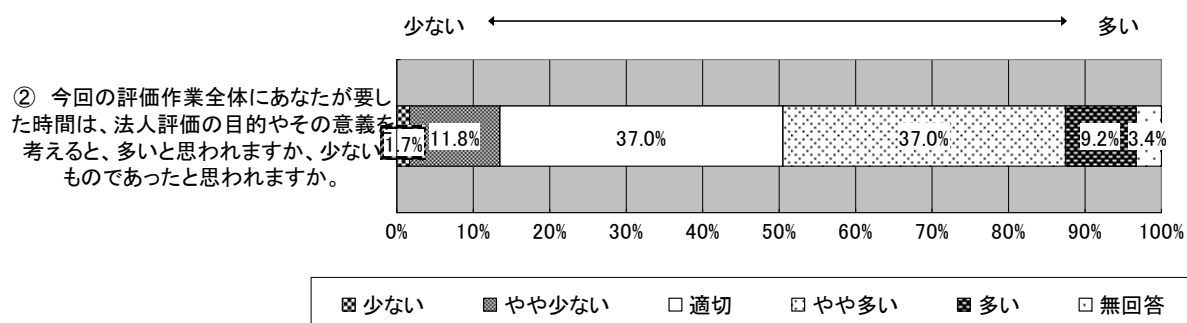


(1-5) 評価の作業期間や作業量について、

① 機構で設定した書面調査の作業期間は、十分でしたか、不足しましたか。

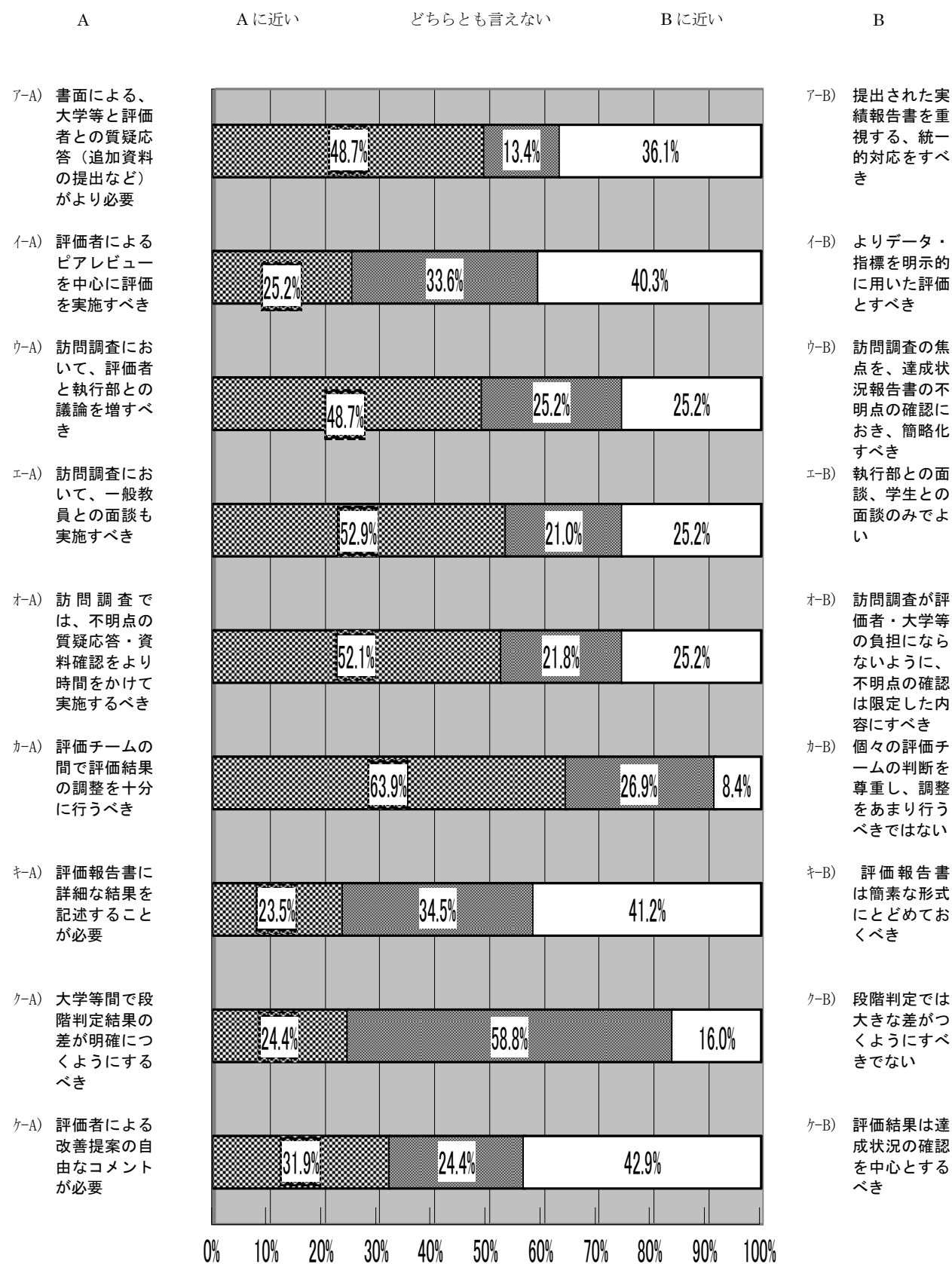


② 今回の評価作業全体にあなたが要した時間は、法人評価の目的やその意義を考えると、多いと思われるか、少ないものであったと思われるか。

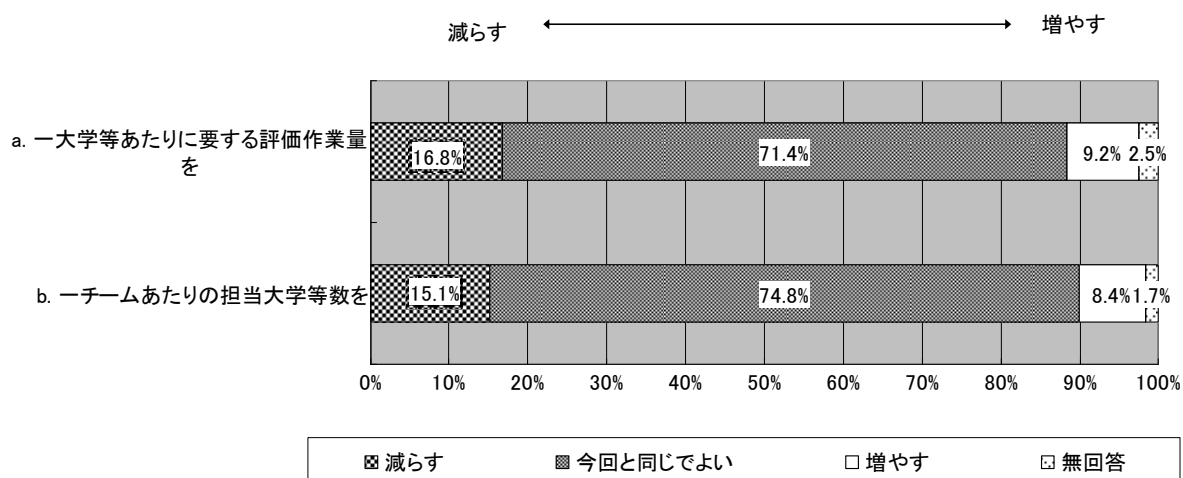


問2 今後の達成状況評価のあり方についてのご意見

(2-1) 今後の達成状況評価のあり方に関して、どのような方法が望ましいと思われますか。

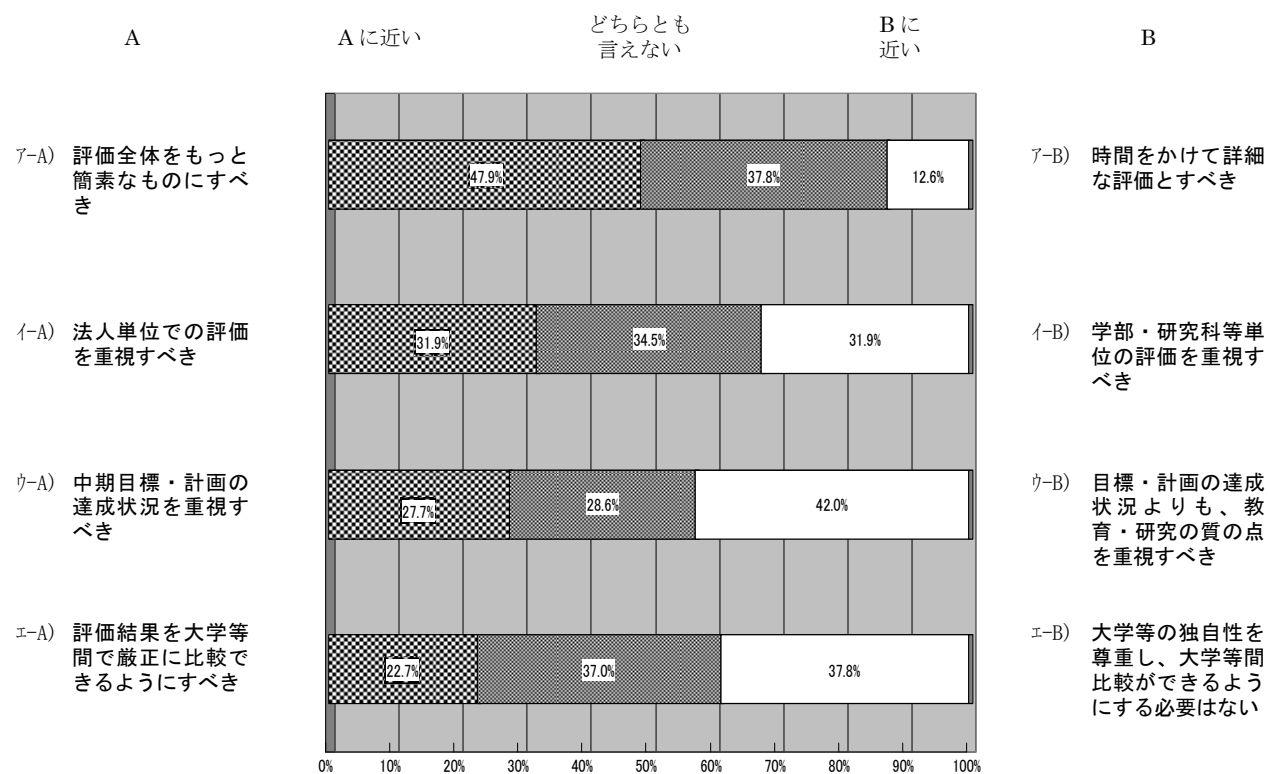


(2-2) 評価にかかる作業負担や、複数の評価結果の間での調整の実施可能性などを総合的に鑑みて、評価者が一大学等あたりに要する評価の作業量と、一チームあたりの担当大学等数（訪問調査を行う大学等数）を今後どのようにするのが望ましいと思われますか。



Ⅲ 評価全般について

問 1 今回の評価は国立大学法人評価委員会の要請により、法人を単位とする達成状況評価に加えて、学部・研究科等を単位とする現況分析を別途実施いたしました。今回、達成状況評価を行っていた経験から、今後の評価のあり方としてどのようなものが望ましいと思いますか。

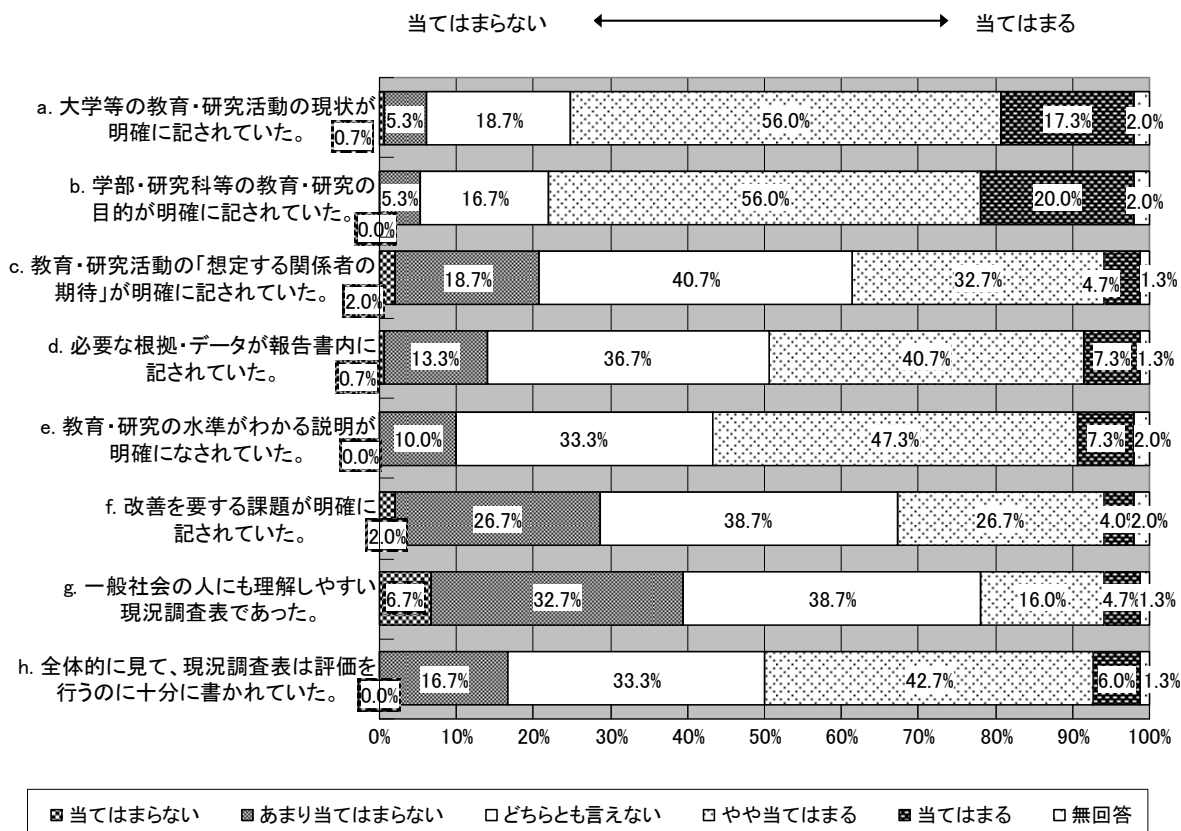


「国立大学法人及び大学共同利用機関法人における教育研究の状況についての評価」
学部・研究科等の教育の「現況分析」に関する検証アンケート結果

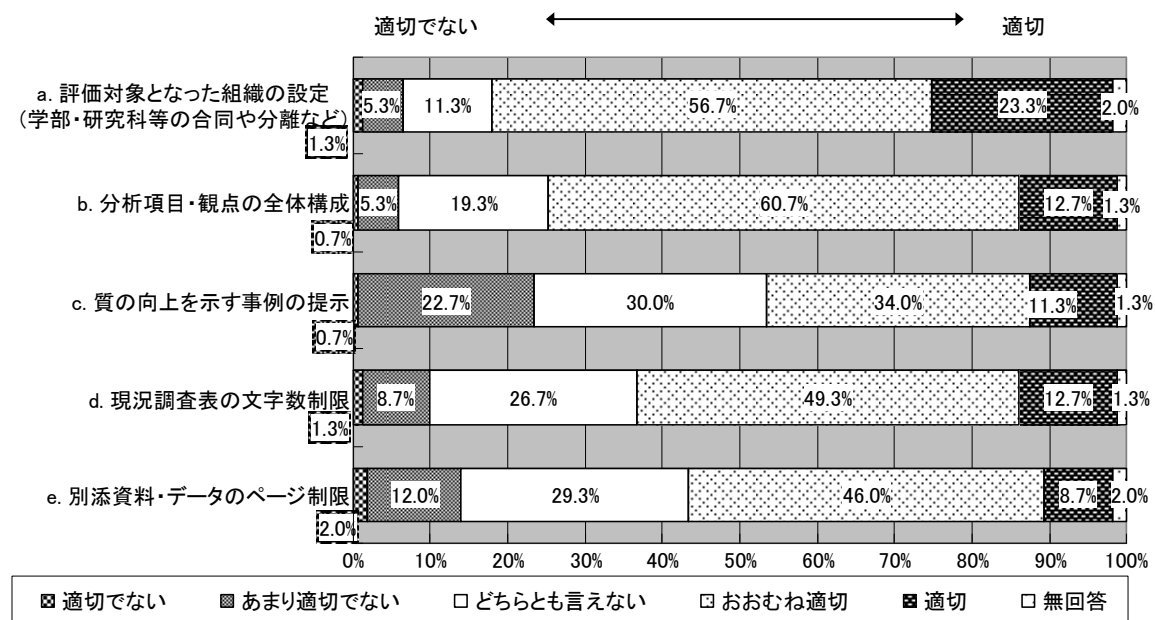
I 大学等から提出された「現況調査表」について

問1 今回の評価で大学等から提出された現況調査表について

(1-1) 評価をご担当された現況調査表は、全体的にみて、評価を行いやすいものでしたか。

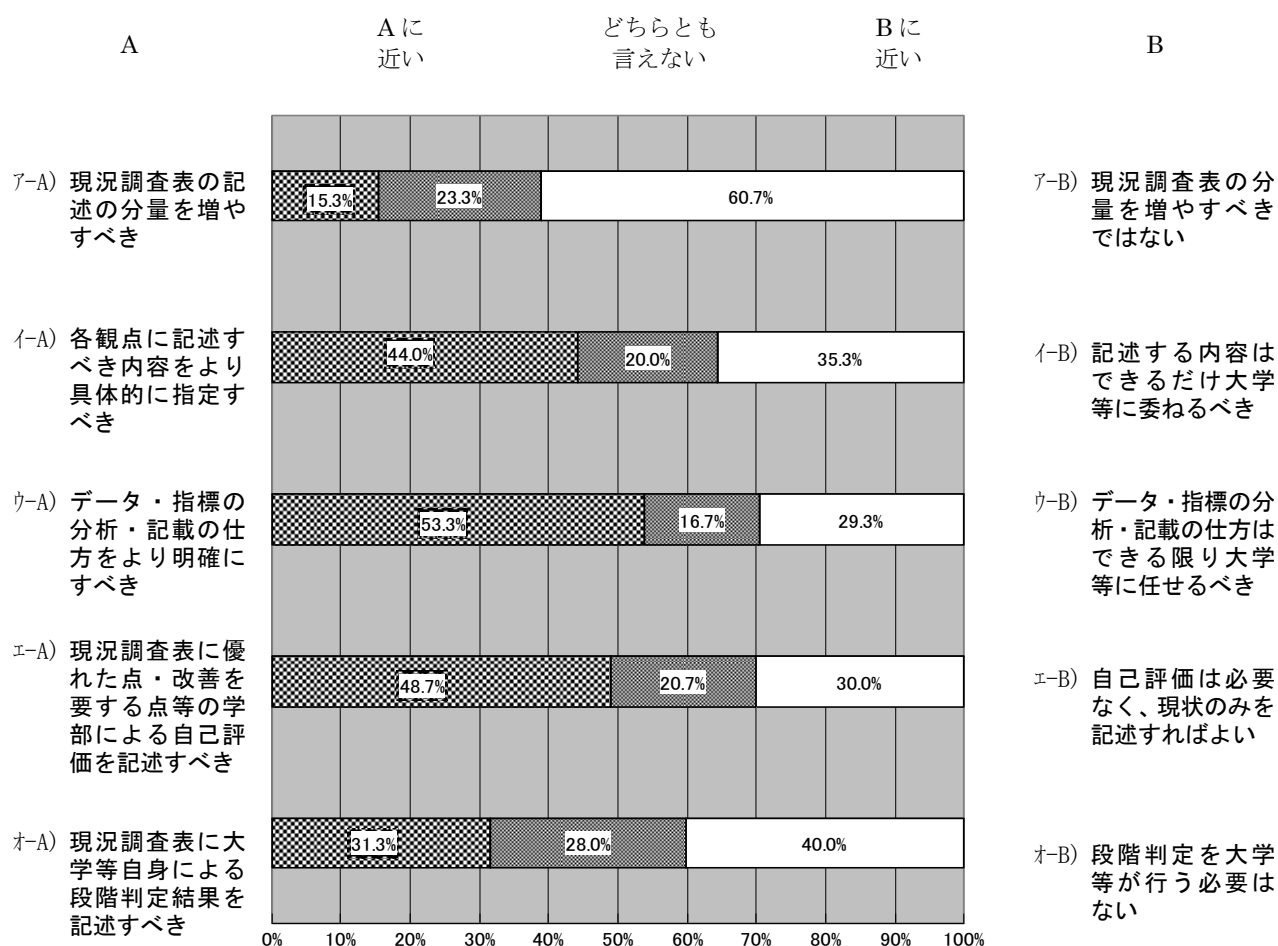


(1-2) 今回の現況調査表の形式や作成方法は、適切と思われましたか。

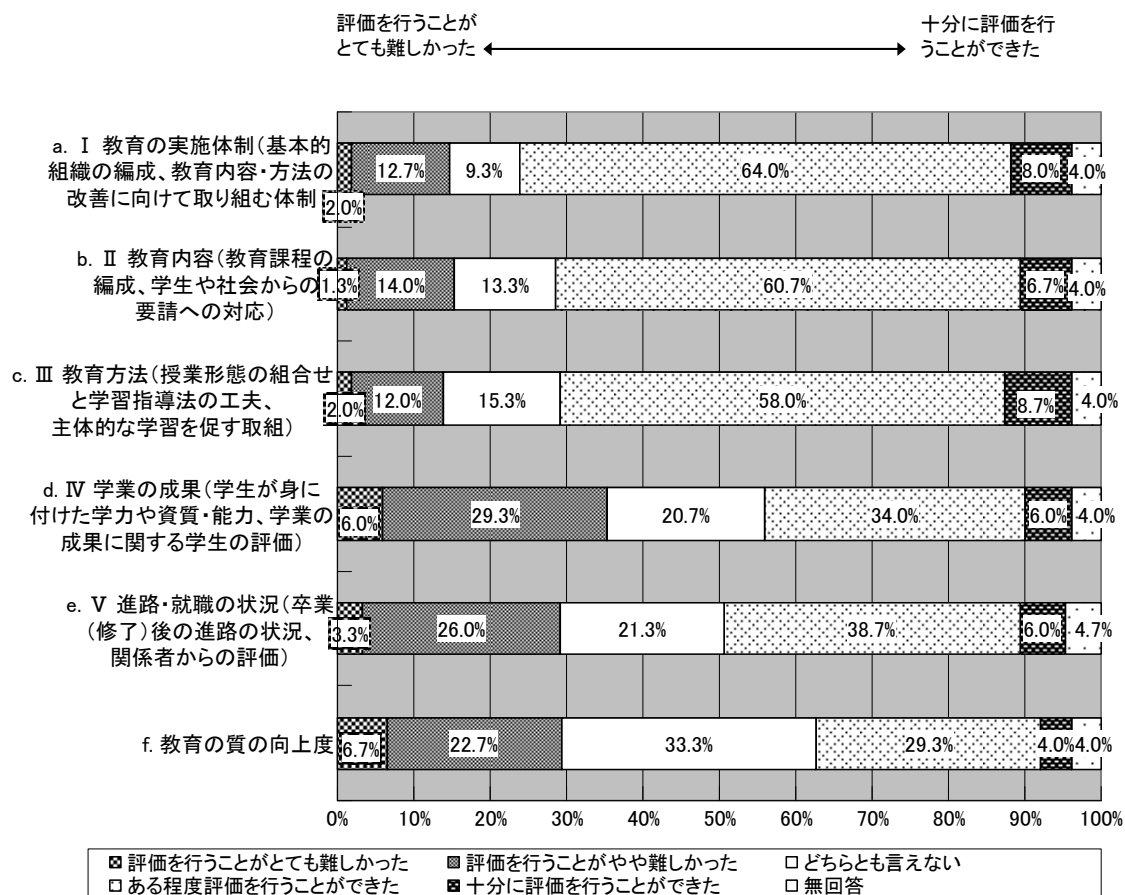


問2 今後の現況調査表の作成のあり方へのご意見

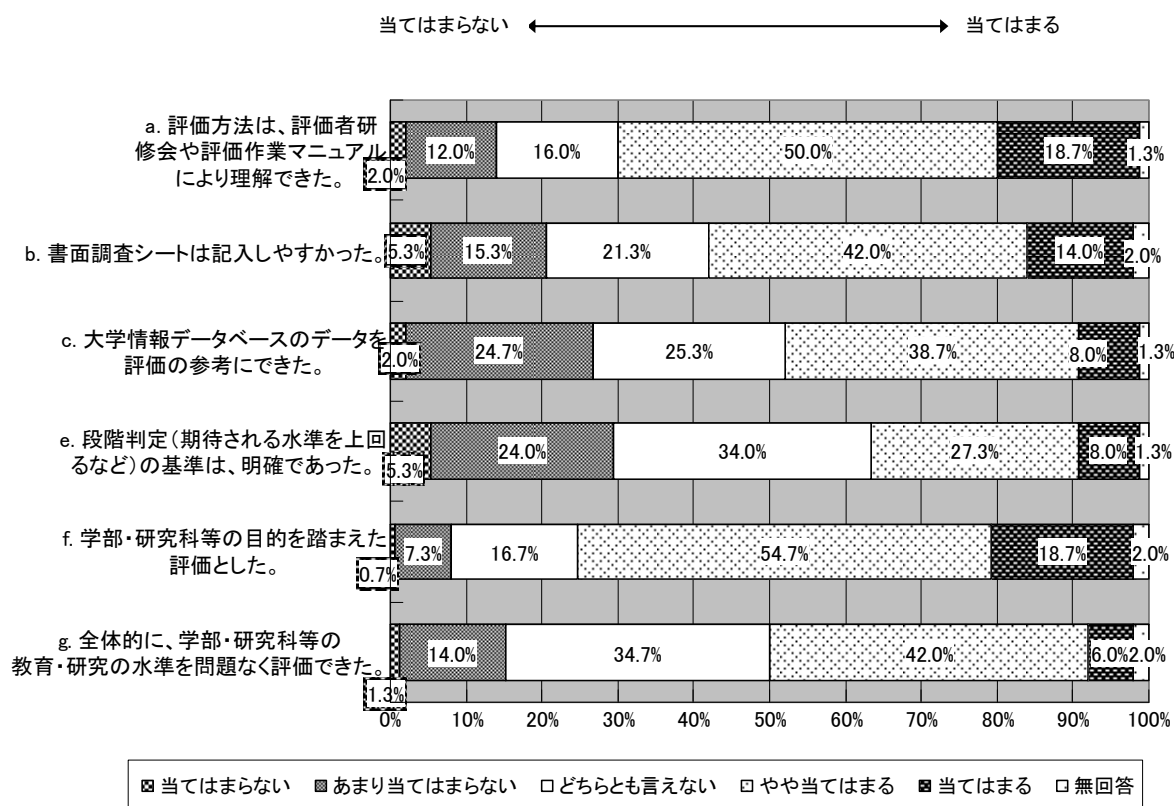
(2-1) これまで現況調査表の作成のあり方について、大学等や評価者の方々から様々な異なる意見をいただいております。今後と同様に現況調査表を作成する場合には、どのような方法が望ましいと思われますか。



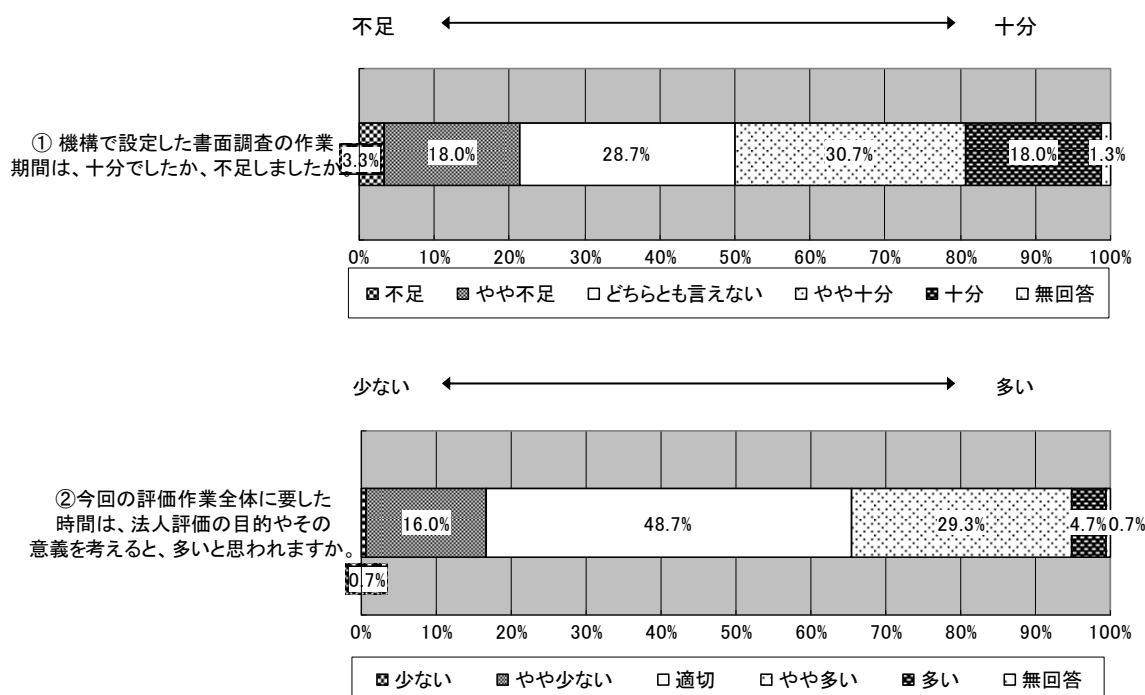
(1-3) 今回の現況分析では、以下の分析項目・観点ごとに学部・研究科等が現況調査表を作成し、評価者が評価を行いました。



(1-4) 実施した評価作業についてどのように思われましたか。

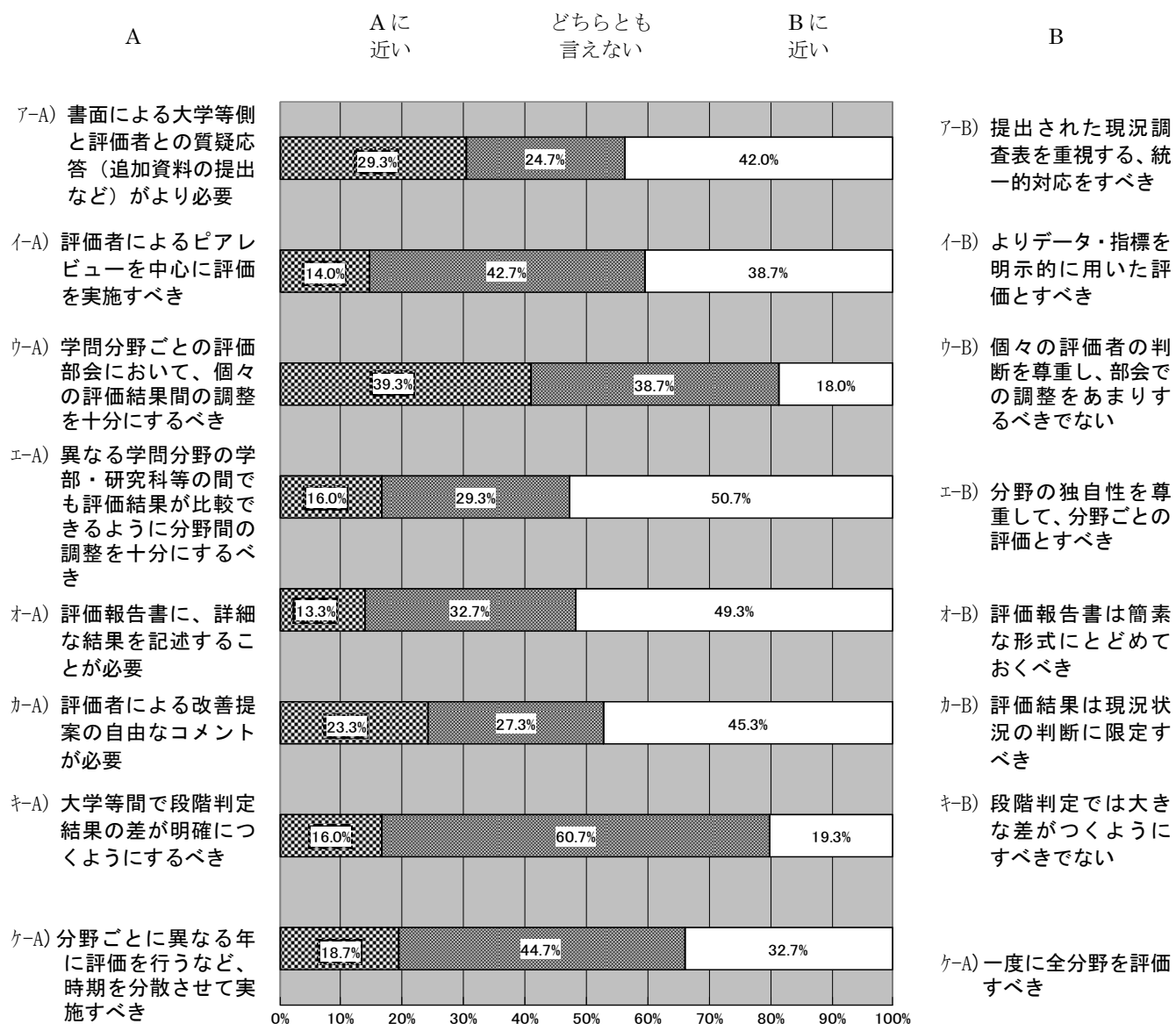


(1-5) 評価の作業期間や作業量について、

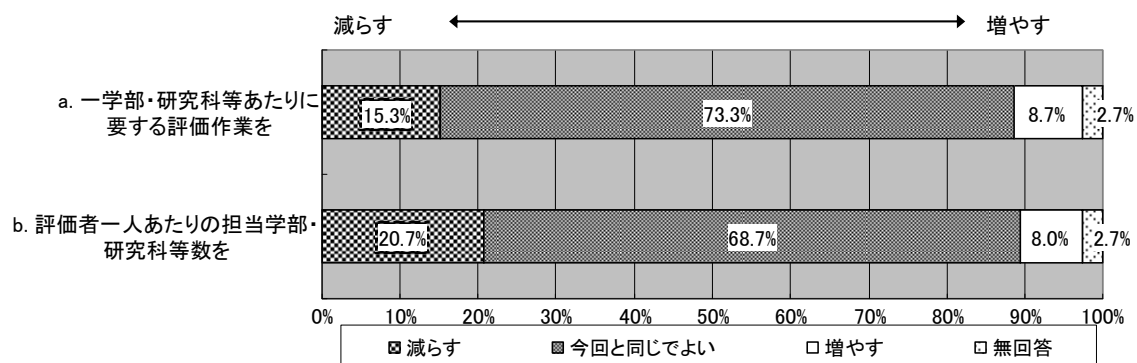


問2 今後の現況分析（評価）のあり方についてのご意見

(2-1) 今後の現況分析（評価）のあり方に関して、各設問のどちらの考えにより近いですか。



(2-2) 評価の作業負担と評価結果の比較可能性などを総合的に鑑みて、一学部・研究科等あたりに要する評価の作業量と、評価者一人あたりの担当学部・研究科等数を今後どのようにするのが望ましいと思われますか。

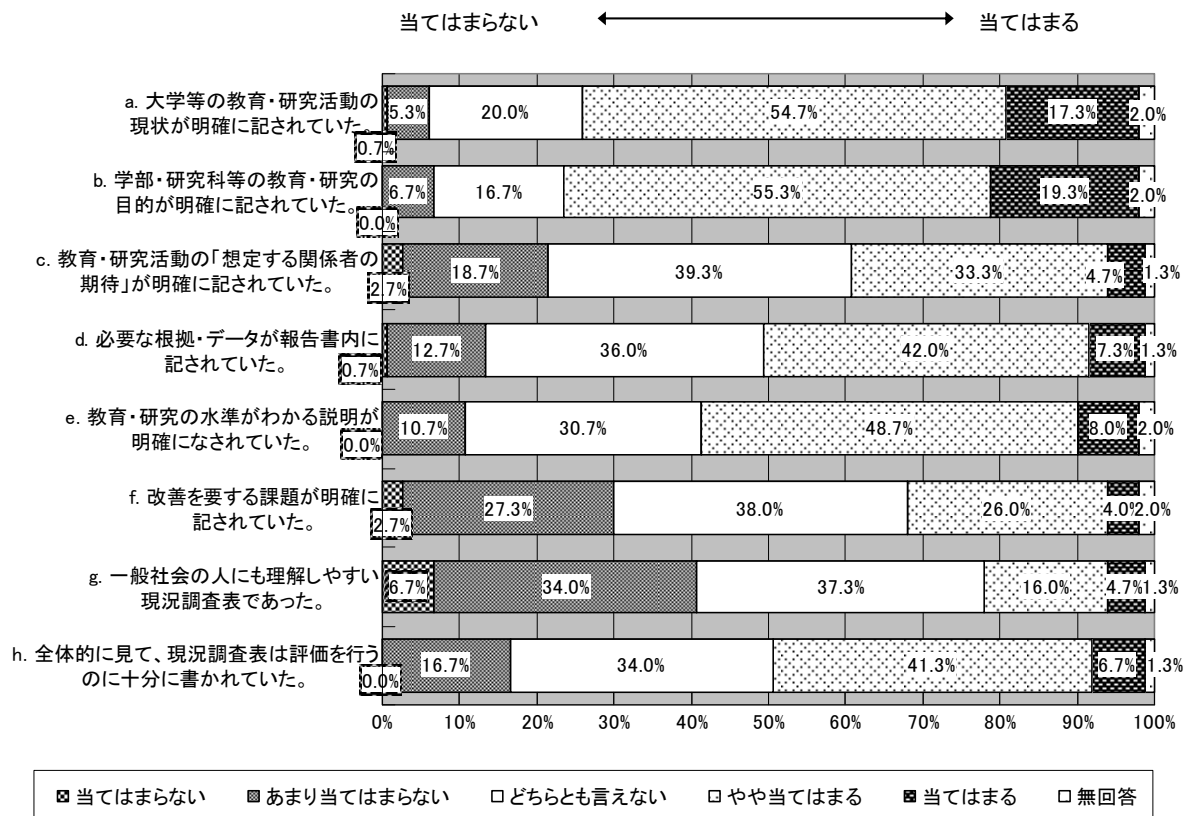


「国立大学法人及び大学共同利用機関法人における教育研究の状況についての評価」
学部・研究科等の研究の「現況分析」に関する検証アンケート結果

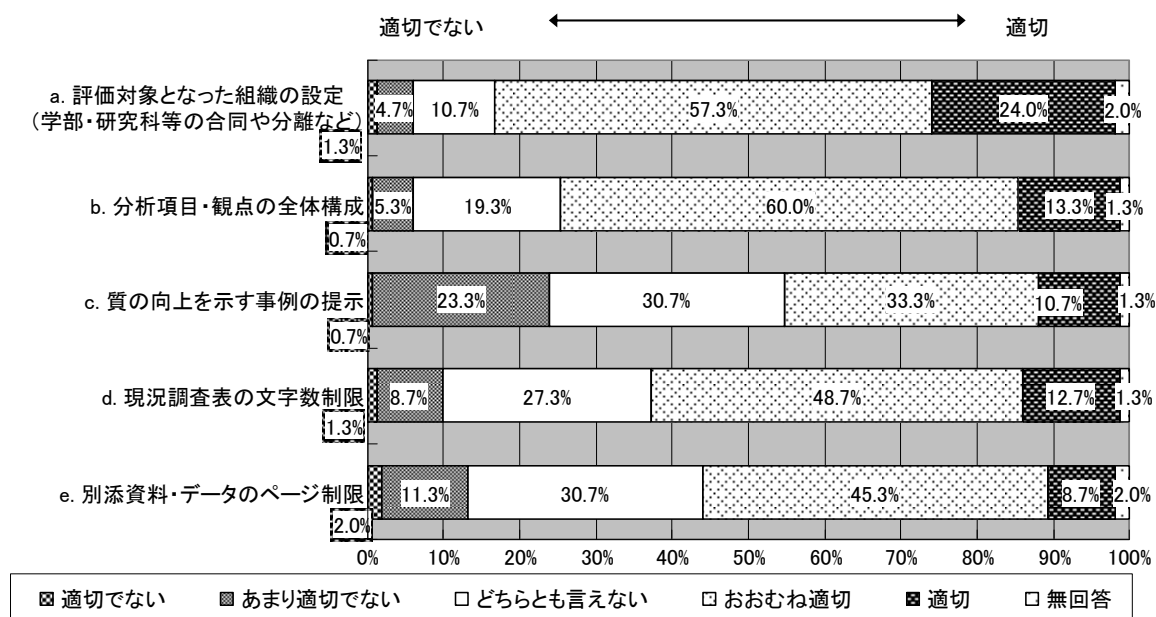
I 大学等から提出された「現況調査表」について

問 1 今回の評価で大学等から提出された現況調査表について

(1-1) 評価をご担当された現況調査表は、全体的にみて、評価を行いやすいものでしたか。

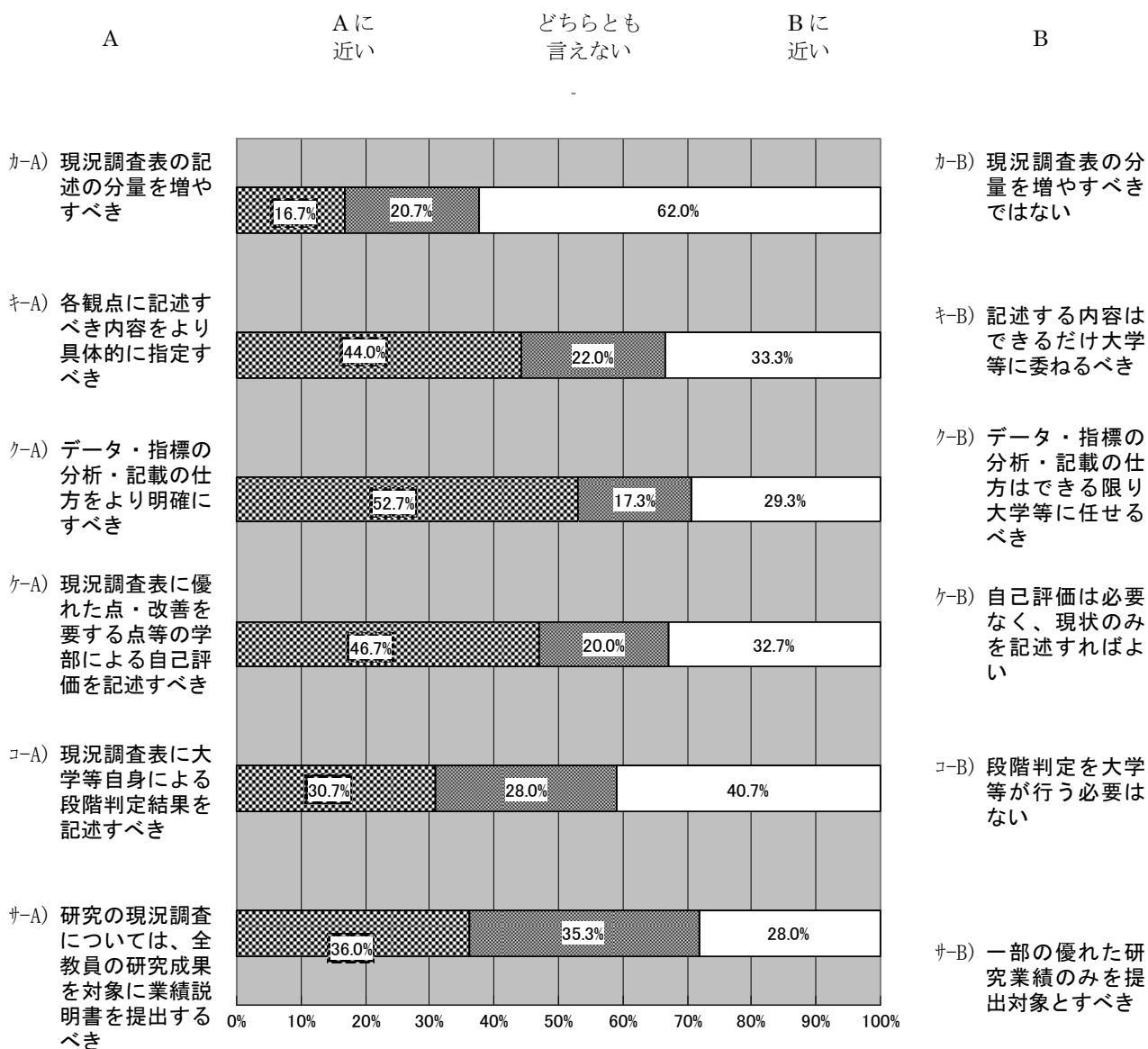


(1-2) 今回の現況調査表の形式や作成方法は、適切と思われましたか。

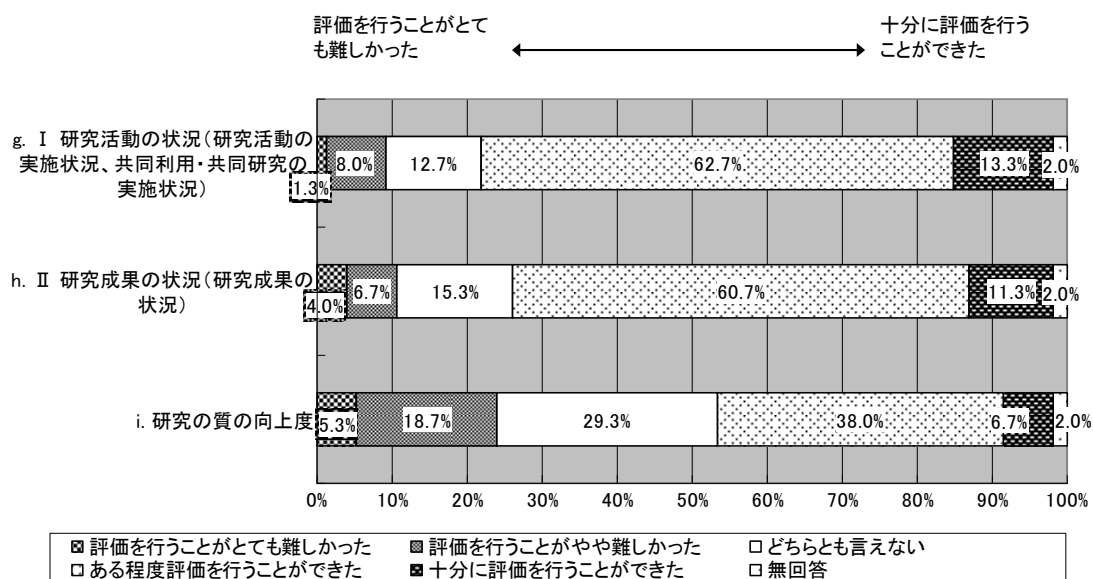


問2 今後の現況調査表の作成のあり方へのご意見

(2-1) これまで現況調査表の作成のあり方について、大学等や評価者の方々から様々な異なる意見をいただいております。今後と同様に現況調査表を作成する場合には、どのような方法が望ましいと思われますか。



(1-3) 今回の現況分析では、以下の分析項目・観点ごとに学部・研究科等が現況調査表を作成し、評価者が評価を行いました。



当てはまらない ← → 当てはまる

項目	当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらとも言えない	やや当てはまる	当てはまる	無回答
a. 評価方法は、評価者研修会や評価作業マニュアルにより理解できた。	2.0%	10.7%	16.0%	52.7%	17.3%	1.3%
b. 書面調査シートは記入しやすかった。	5.3%	15.3%	21.3%	42.7%	13.3%	2.0%
c. 大学情報データベースのデータを評価の参考にできた。	2.0%	23.3%	26.0%	39.3%	8.0%	1.3%
d. 研究業績の判定結果を評価の参考にできた。	0.0%	9.3%	20.0%	52.0%	16.7%	2.0%
e. 段階判定（期待される水準を上回るなど）の基準は、明確であった。	5.3%	24.0%	32.7%	30.0%	6.7%	1.3%
f. 学部・研究科等の目的を踏まえた評価とした。	0.7%	8.0%	16.0%	54.7%	18.7%	2.0%
g. 全体的に、学部・研究科等の教育・研究の水準を問題なく評価できた。	1.3%	12.7%	31.3%	47.3%	5.3%	2.0%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

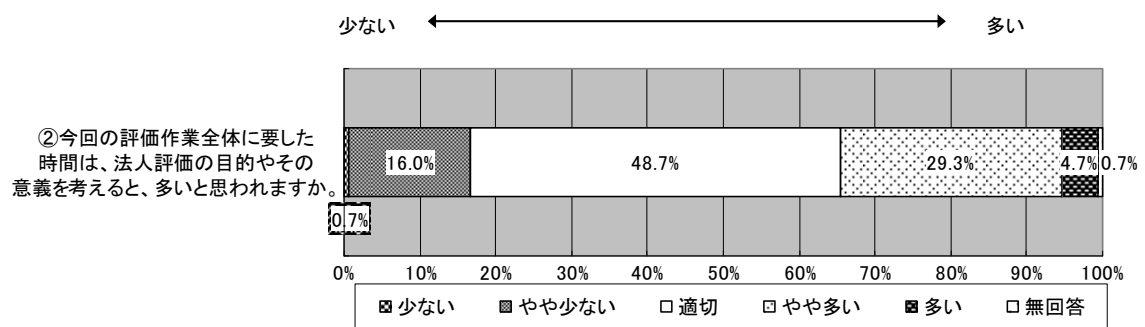
☒ 当てはまらない ☑ あまり当てはまらない □ どちらとも言えない □ やや当てはまる ☑ 当てはまる □ 無回答

① 機構で設定した書面調査の作業期間は、十分でしたか、不足しましたか

回答	割合
不足	3.3%
やや不足	18.0%
どちらとも言えない	28.7%
やや十分	30.7%
十分	18.0%
無回答	1.3%

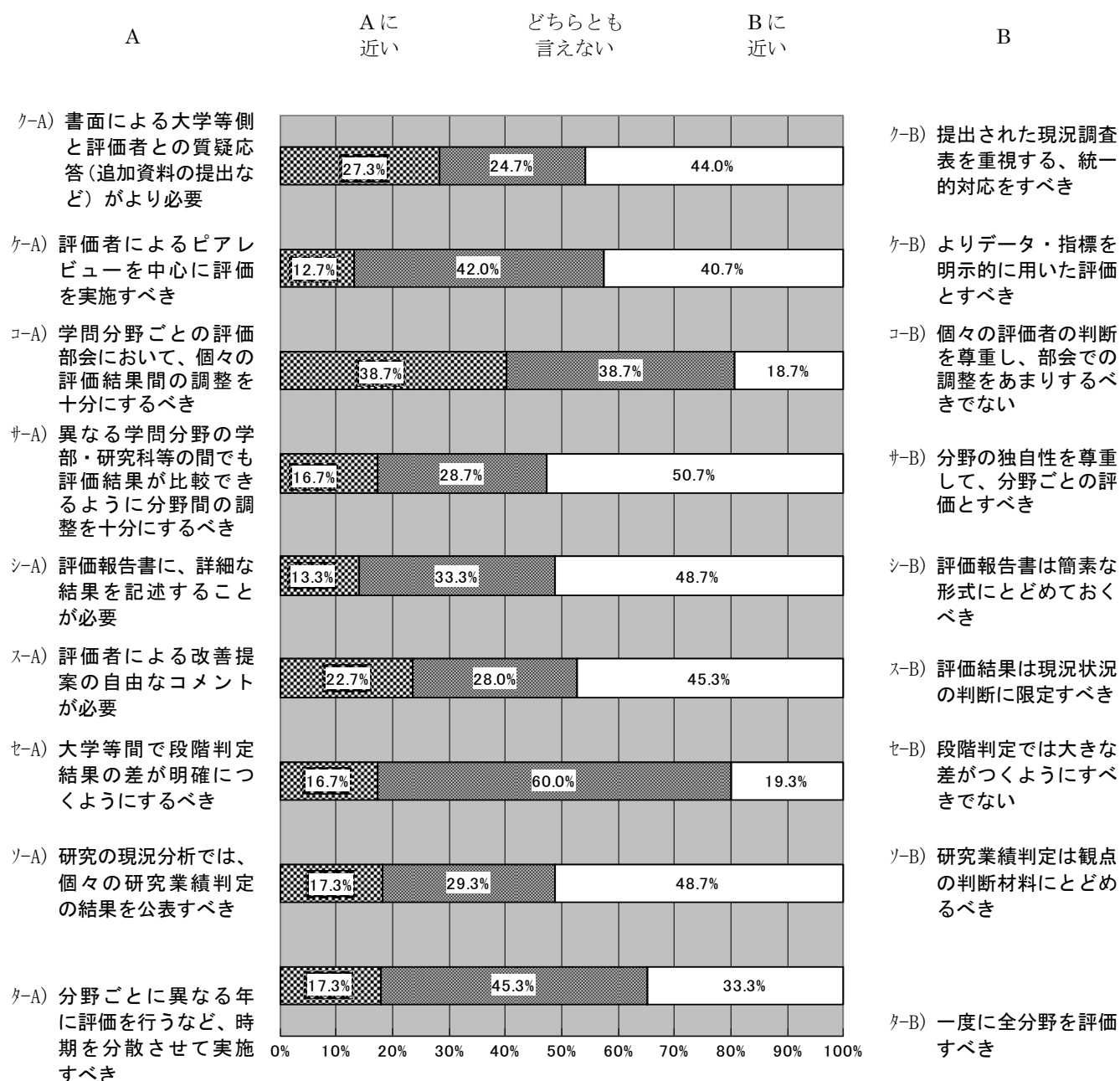
不足 ← 十分

■ 不足 ■ やや不足 □ どちらとも言えない □ やや十分 ■ 十分 □ 無回答

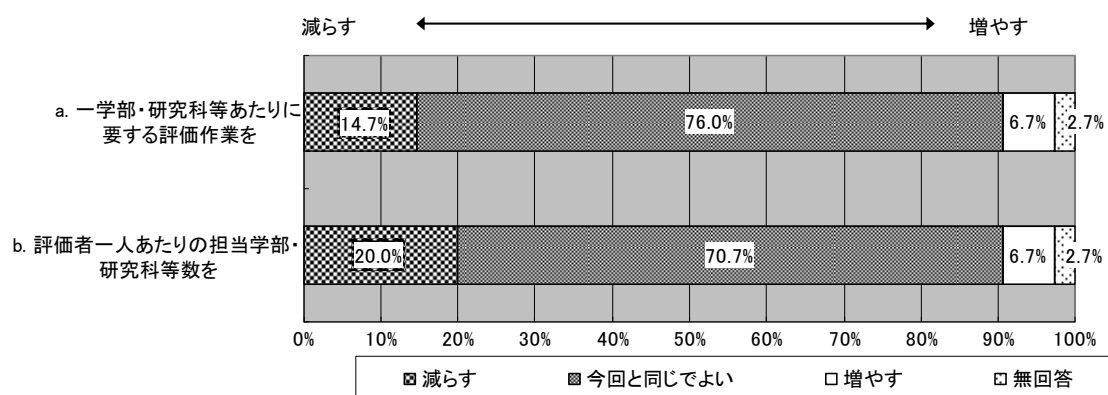


問2 今後の現況分析（評価）のあり方についてのご意見

(2-1) 今後の現況分析（評価）のあり方に関して、各設問のどちらの考えにより近いですか。

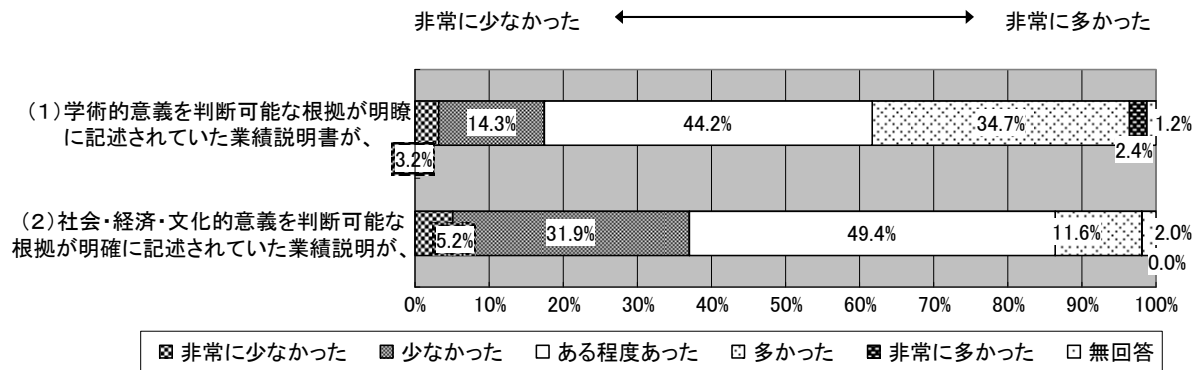


(2-2) 評価の作業負担と評価結果の比較可能性などを総合的に鑑みて、一学部・研究科等あたりに要する評価の作業量と、評価者一人あたりの担当学部・研究科等数を今後どのようにするのが望ましいと思われますか。



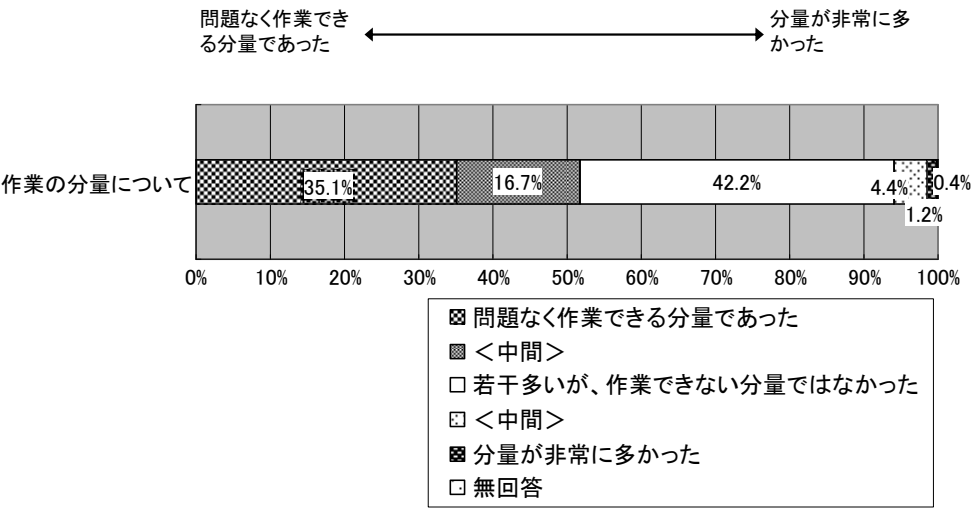
研究業績水準判定作業に関するアンケート結果

1. 提出された研究業績説明書について

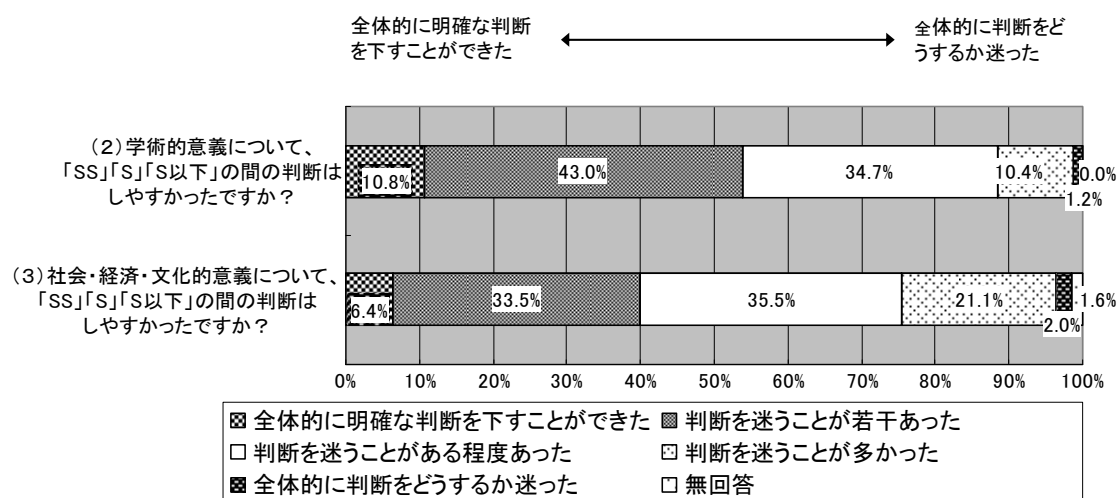
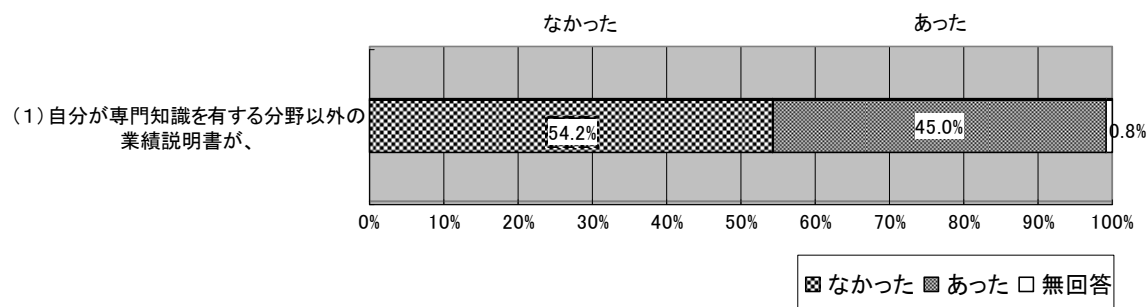


2. 作業量について

(2) 作業の分量について



3. 判定について



4. 今回の判定作業は、学部・研究科を単位に行う研究水準の現況分析の一環として、特に優れた研究業績（SS、S）の判定をしていただいたものです。そのため、今回は、業績そのものを一から精査するのではなく、根拠説明資料（客観的指標や第三者評価結果の記述）から判定いただく簡素な方法をとりました。

実際に判定作業をされて、ご担当の研究分野において特に優れた研究（SS,S）を判定するためには、どの程度の詳細な資料があることが適切と感じられましたか？

